

新型コロナウイルス感染症

# 福井県内第4期・第5期の振り返りと 今後の方向性

令和3年11月11日

福井県

# 目次

## I はじめに

## II 県内第4期・第5期の取組と今後の方向性

### 1 感染予防対策

- (1) 発生状況・積極的疫学調査
- (2) クラスタ発生状況
- (3) 検査実績（PCR、抗原）
- (4) 相談実績（受診・相談センター、AIモニタリング）
- (5) 県民への要請
- (6) 飲食店第三者認証
- (7) 評価指標

### 2 ワクチン接種

### 3 医療提供体制

- (1) 入院医療体制・宿泊療養施設
- (2) 患者の受入調整・搬送調整

### 4 経済・雇用

- (1) 本県経済への影響
- (2) 経済・雇用
- (3) 寄付金等の受入れ

※ 「県内第1期」…令和2年 3月1日～令和2年 6月30日

「県内第2期」…令和2年 7月1日～令和2年 9月30日

「県内第3期」…令和2年10月1日～令和3年 2月28日

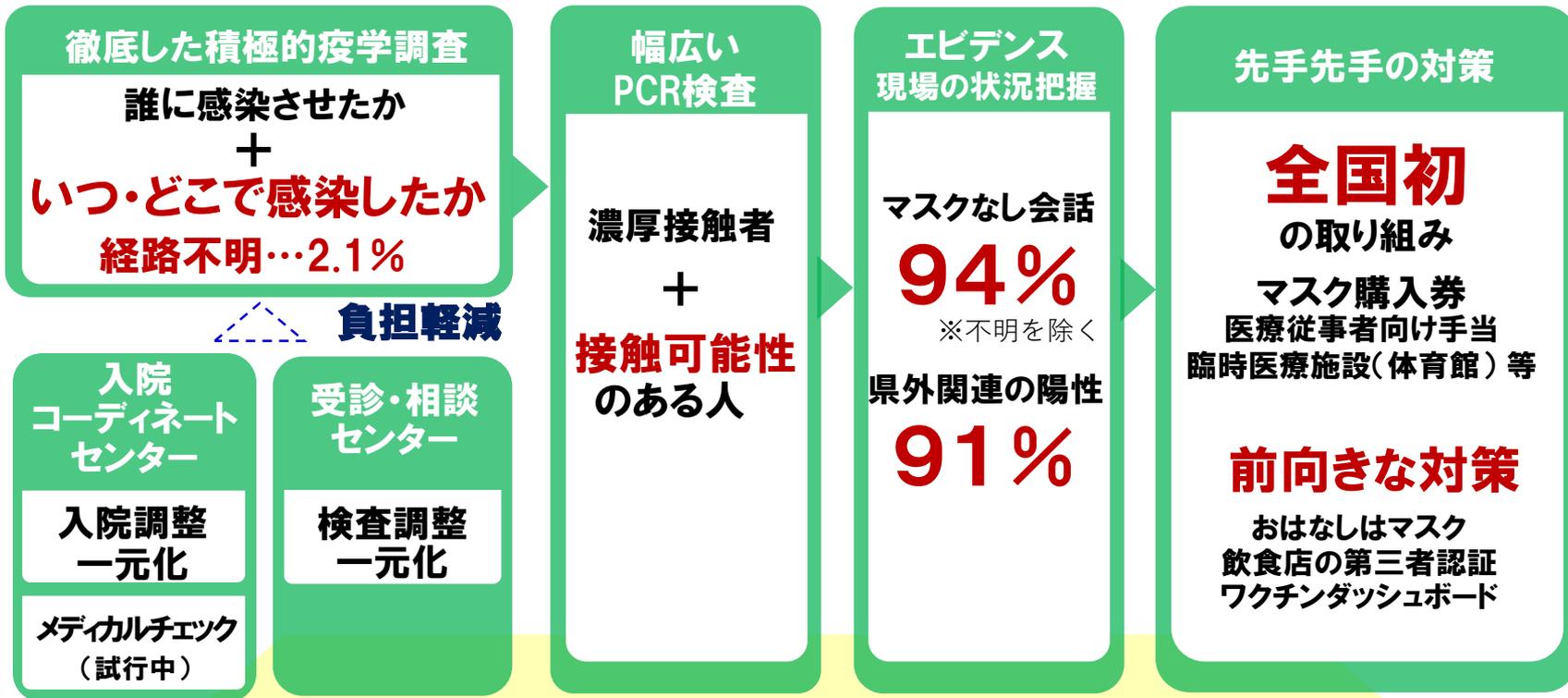
「県内第4期」…令和3年 3月1日～令和3年 7月19日

「県内第5期」…令和3年7月20日～令和3年10月14日

## はじめに

- ・福井県では、医師会等との協力のもと、早期発見・早期治療を目的に、積極的疫学調査を徹底し、幅広く検査を行うことで、感染拡大防止に努めてきた。
- ・さらに、調査により得られたエビデンスをもとに、全国初となる対策や感染対策に取り組む県民、事業者を応援する前向きな施策へとつなげている。
- ・こうした一連の取り組みは「福井モデル」として注目され、令和3年5月には、国に対して説明を行い、高く評価された。
- ・しかしながら、感染力の強い変異株の影響もあり、第4期・第5期においては、これまでに経験したことのない多くの感染者が確認された。しかし、県外往来の中止・延期の要請、県内で初めてとなる飲食店への時短営業の要請、ワクチン接種の促進等により、感染を収束に向かわせることができた。
- ・また、医療体制についても、医療機関における病床や宿泊療養施設の追加確保、臨時の医療施設の準備などにより充実を図った。
- ・この資料は、今後発生が見込まれる第6波に向け、新型コロナウイルス対策をさらに充実させ、感染拡大防止と経済再生を両立していくことを目的に、現時点での第4期および第5期の対応と課題、今後の対策の方向性について検証を行うものである。

## 早期発見・早期治療 → 感染拡大・重症化の防止



**チームふくい**

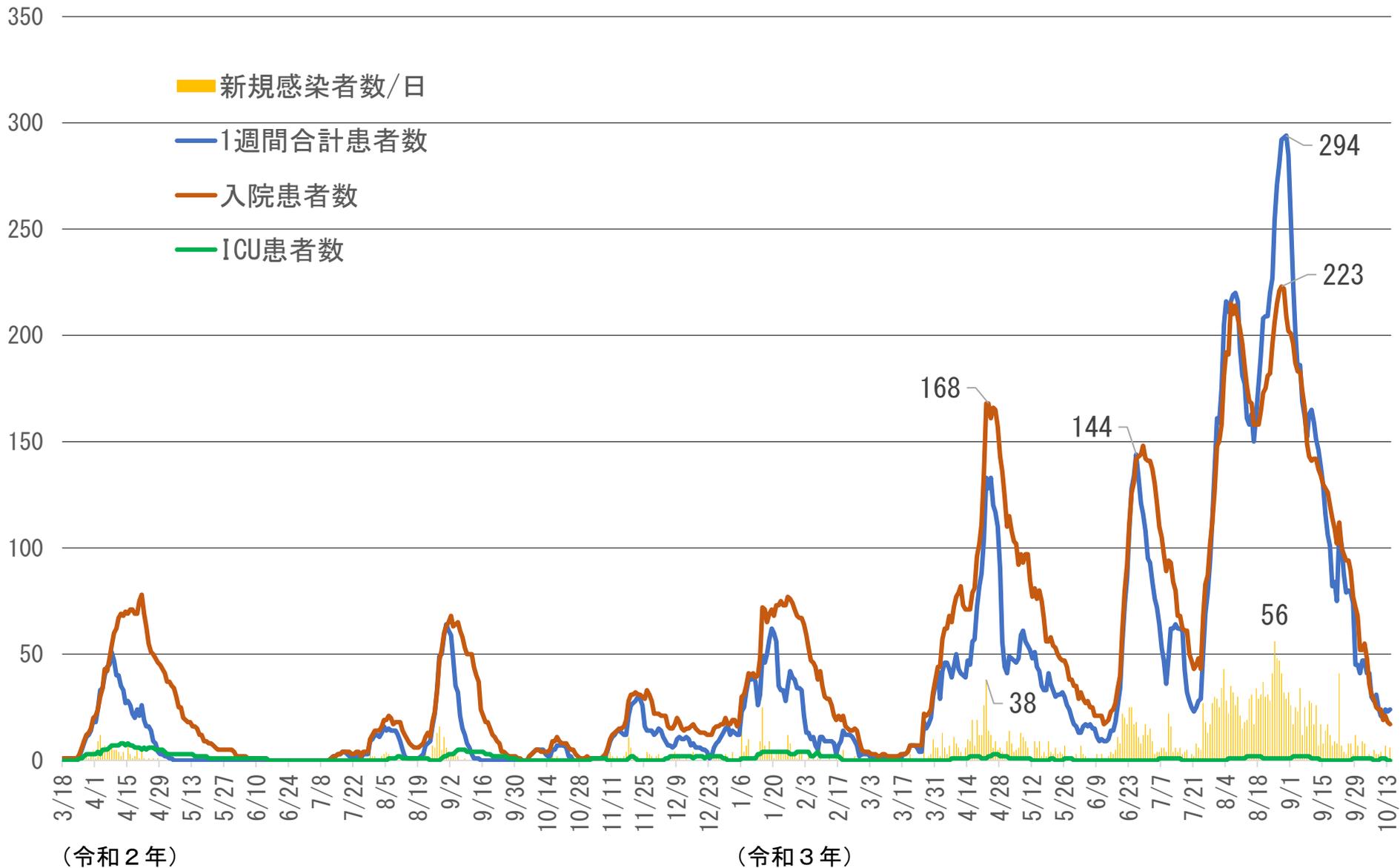
医療関係者、県民、県議会、市町、各種団体など

# 1 感染予防対策

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
感染の状況	R2.3.1~2.6.30	R2.7.1~2.9.30	R2.10.1~3.2.28	R3.3.1~3.7.19	R3.7.20~3.10.14
感染者数計	122	122	301	876	1,676
新規系統数計	14	24	82	172	396
1週間感染者数(最大)	51	64	62	144	294
クラスター件数計	6	4	9	11	32
入院の状況					
平均入院日数	21.6	13.5	12.0	11.0	9.4
病床利用率(最大)	70.9% (78/110床)	35.7% (68/190床)	30.2% (77/255床)	63.4% (168/265床)	55.2% (223/404床)
ICU利用率(最大)	88.9% (8/9床)	20.8% (5/24床)	16.7% (4/24床)	12.5% (3/24床)	8.3% (2/24床)
宿泊療養利用率 (最大)	50.0% (10/20床)	3.4% (5/146床)	3.4% (5/146床)	16.4% (24/146床)	69.2% (101/146床)
重症者数計 (重症化率)	23 (18.9%)	9 (7.4%)	17 (5.6%)	9 (1.0%)	6 (0.4%)
死亡者数計 (死亡率)	8 (6.6%)	3 (2.5%)	14 (4.8%)	11 (1.3%)	1 (0.1%)
検査の状況					
検査件数計	3,940	6,410	22,563	42,737	43,149
1日検査実績(最大)	143	303	619	1,243	1,291
期間の陽性率	3.1%	1.9%	1.3%	2.0%	3.9%
感染経路不明割合	6.5%	4.1%	3.3%	1.9%	1.5% <sub>6</sub>

# (1) 発生状況・積極的疫学調査

(第1期～第5期) 福井県 1週間患者数・入院患者数等の動向

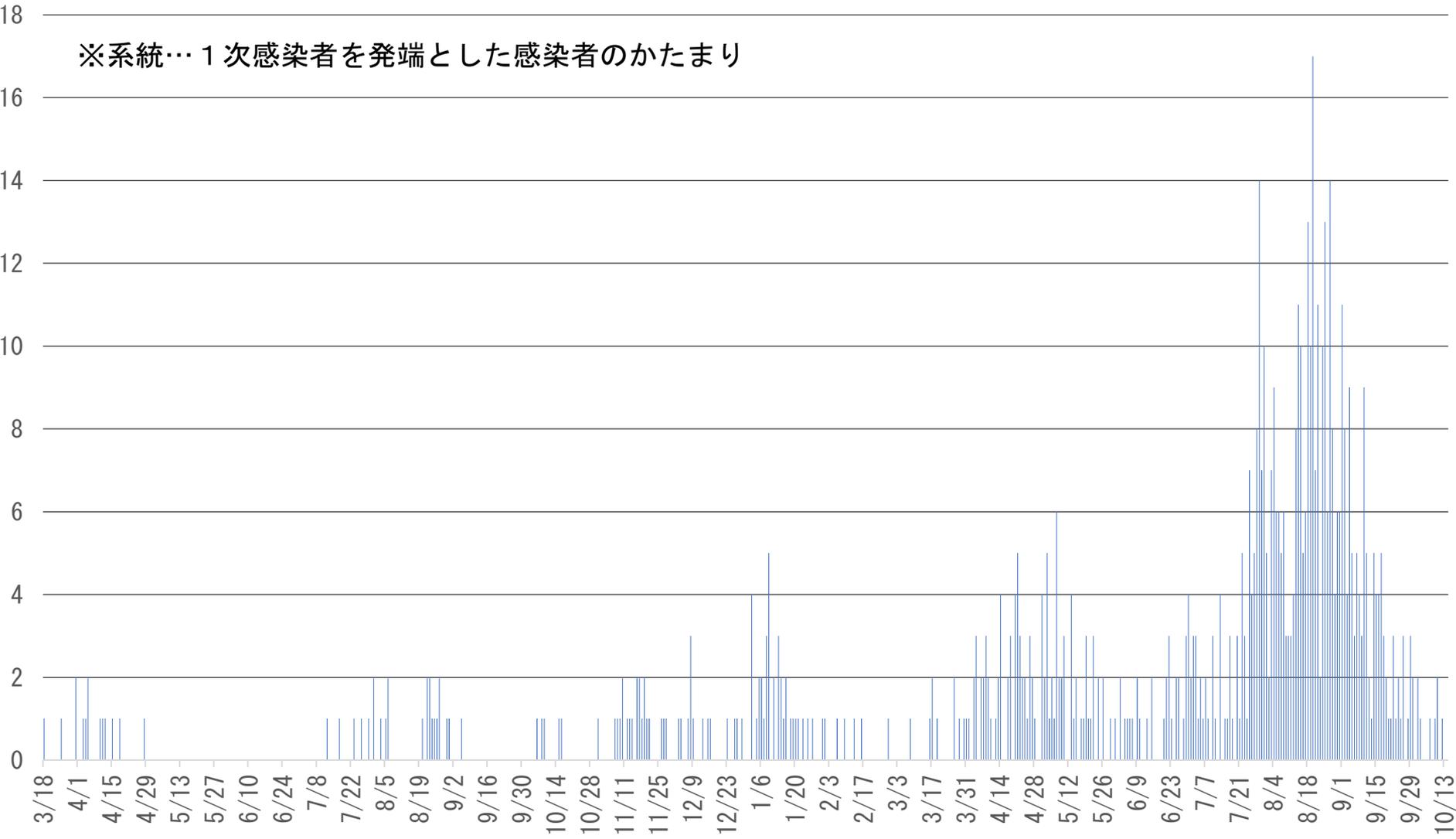


# (第1期～第5期)

## 新規系統数の動向 (報告日ベース)

(系統)

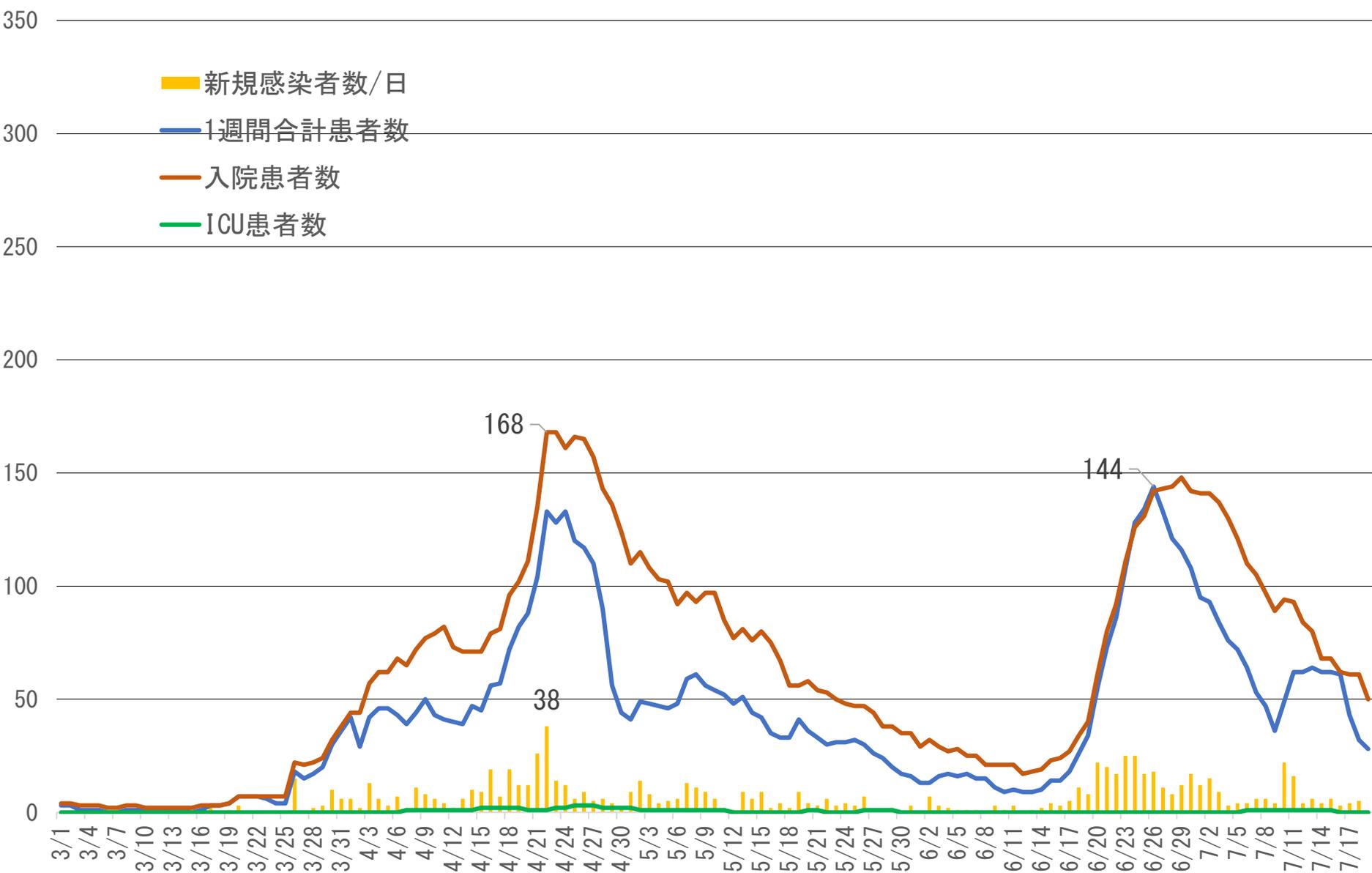
※系統… 1次感染者を発端とした感染者のかたまり



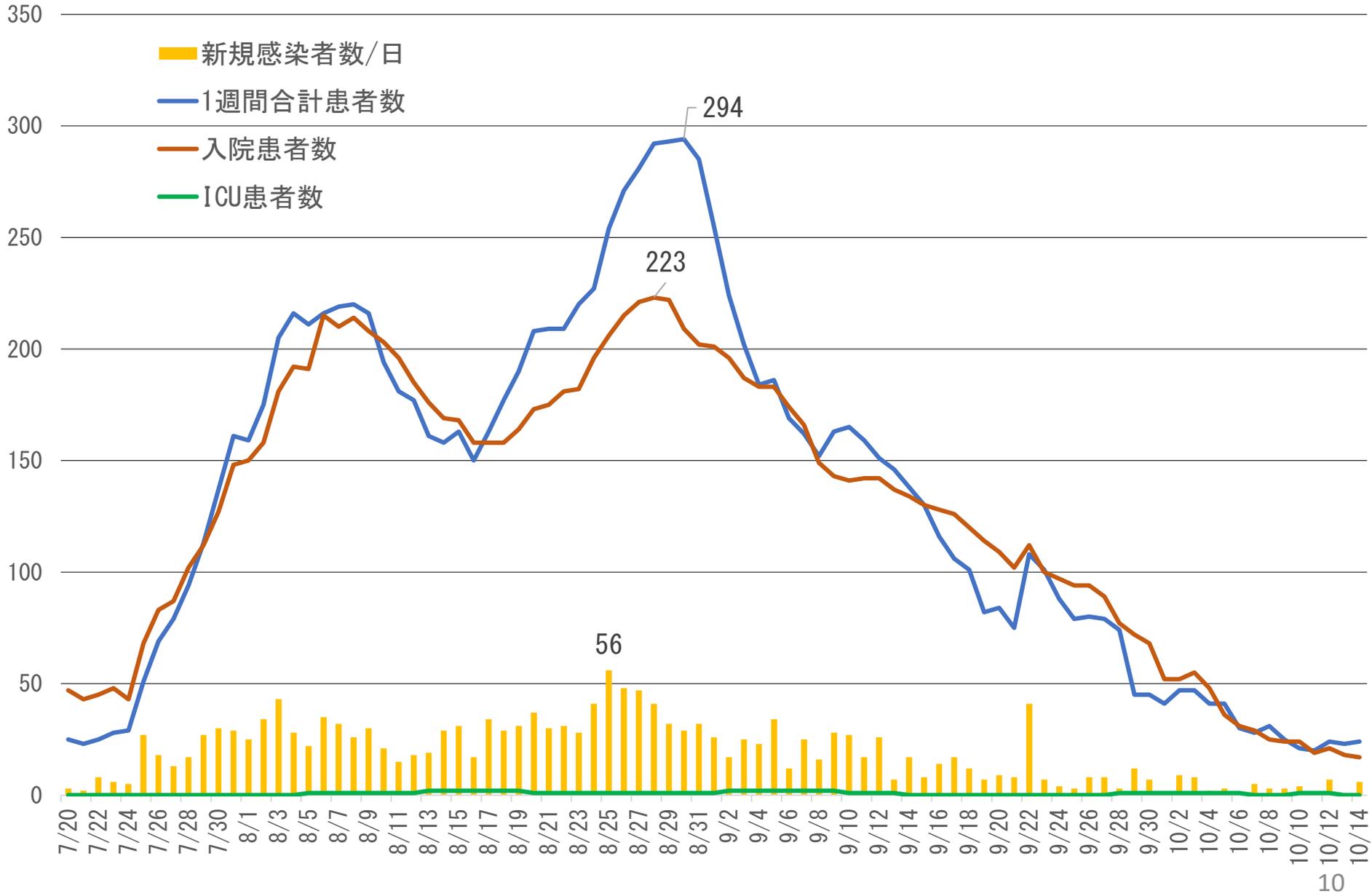
(令和2年)

(令和3年)

# 福井県 1週間患者数・入院患者数等の動向（第4期）



# 福井県 1週間患者数・入院患者数等の動向（第5期）



## ○年代別

- ・第4期では、高齢者へのワクチン優先接種の進行に伴い、感染者に占める高年層（特に65歳以上）の割合が大きく減少する一方、若年層（20代以下）の感染が拡大
- ・第5期においても、ワクチン接種の進行に伴い、比重が高年層から若年層へ移行

（参考）【第1期】・中年層（40～60代）を中心に感染が拡大（約6割）

【第2期】・高年層（60代以上）を中心に感染拡大（約6割）

・カラオケを伴う飲食店関連では60代以上が約8割を占める。

【第3期】・20代～50代を中心に感染が拡大（約6割）

（単位：人）

	第5期 (R3.7.20～10.14)		第4期 (R3.3～7.19)		第3期 (R2.10～R3.2)		第2期 (R2.7～9)		第1期 (R2.3～6)		(参考) R3.1 住基台帳人口
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	割合
0～9歳	125	7.5%	41	4.7%	10	3.3%	1	0.8%	2	1.6%	7.9%
10代	227	13.5%	127	14.5%	22	7.3%	3	2.5%	2	1.6%	9.4%
20代	378	22.6%	171	19.5%	50	16.6%	14	11.5%	8	6.6%	9.5%
30代	274	16.3%	114	13.0%	41	13.6%	11	9.0%	13	10.7%	10.5%
40代	272	16.3%	134	15.3%	41	13.6%	9	7.4%	17	13.9%	13.6%
50代	205	12.1%	119	13.6%	42	14.0%	13	10.7%	36	29.5%	12.6%
60～64歳	55	3.3%	39	4.5%	15	5.0%	5	4.1%	10	8.2%	6.3%
65～69歳	34	2.0%	30	3.4%	16	5.3%	4	3.3%	9	7.4%	6.9%
70代	52	3.1%	42	4.8%	19	6.3%	42	34.4%	19	15.6%	13.2%
80代以上	54	3.2%	59	6.7%	45	15.0%	20	16.4%	6	4.9%	10.1%
合計	1676	100.0%	876	100.0%	301	100.0%	122	100.0%	122	100.0%	-

○潜伏期間 ※暴露日の不明者および無症状病原体保有者を除いて算定

- ・ 暴露日（ウイルスにさらされた日）から発症日までの日数は、第4期、第5期とも、前期と比較して短期化

第5期	第4期	第3期	第2期	第1期
平均3.9日	平均4.5日	平均5.0日	平均4.2日	平均5.3日

○暴露日 ※暴露日が特定できない事例を除いて算定

- ・ ある感染者が他者を感染させた場合に、感染元となった方が感染先となった方と接触した時期としては、第4期、第5期のいずれも、発症日の1日前が最も多い。
- ・ 第3期までの傾向と同様に、発症日の前後2日間以内が暴露日である事例が大部分を占める。

【発症日と他者暴露日との内訳】

発症日から	第5期		第4期		第3期		第2期		第1期	
	人数	割合								
3日前（またはそれ以前）	11	6.4%	18	12.9%	2	9.1%	0	0.0%	4	6.7%
2日前	35	20.2%	33	23.7%	8	36.4%	7	25.9%	7	11.7%
1日前	59	34.1%	45	32.4%	3	13.6%	1	3.7%	6	10.0%
0日（発症日）	39	22.5%	30	21.6%	3	13.6%	14	51.9%	21	35.0%
1日後	16	9.2%	10	7.2%	5	22.7%	2	7.4%	6	10.0%
2日後	8	4.6%	2	1.4%	1	4.5%	3	11.1%	4	6.7%
3日後（またはそれ以後）	5	2.9%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	12	20.0%
計	173	100.0%	139	100.0%	22	100.0%	27	100.0%	60	100.0%

[再掲]

発症日の前後2日間以内が暴露日である事例の割合

90.8%

86.3%

90.9%

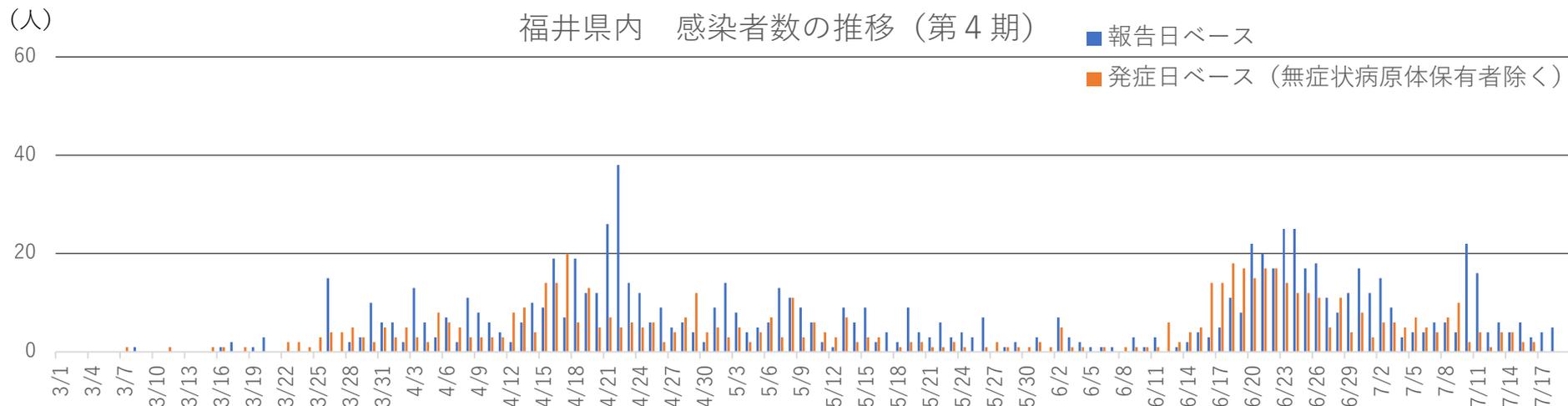
100.0%

73.3%

# ○感染者数の推移

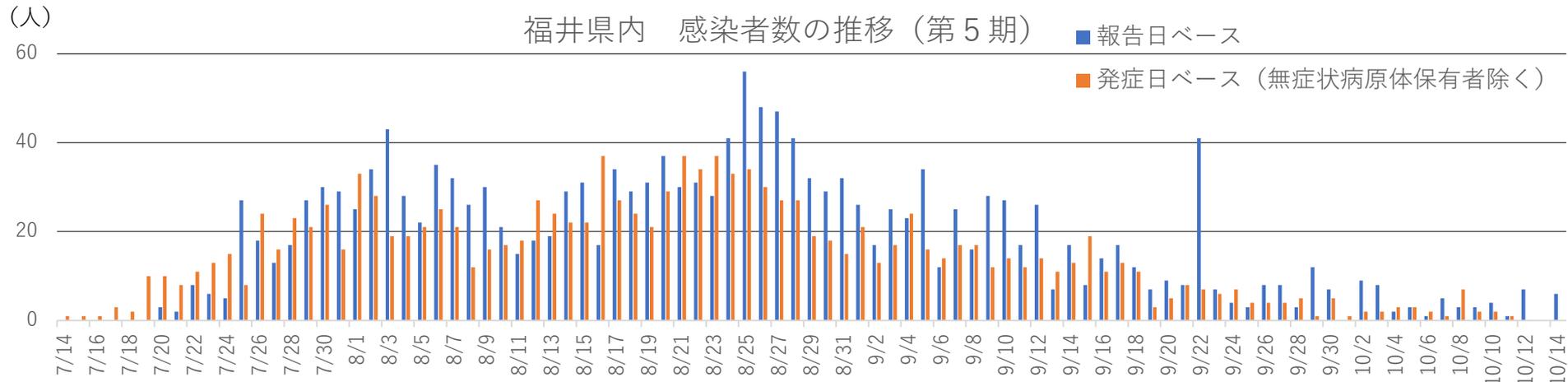
## 【第4期】

- ・ 飲食店等を中心に感染が広がった4月下旬と6月下旬がピーク（報告日ベース）



## 【第5期】

- ・ 飲食店や学校などを中心に感染が広がった8月上旬と、企業内や学校・教育施設などを中心に感染が広がった8月下旬が感染のピーク（報告日ベース）



## ○入院日数

- ・第4期は平均11.0日、第5期は平均9.4日と短縮傾向

(単位：日)

		第5期	第4期	第3期	第2期	第1期
全体		9.4	11.0	12.0	13.5	21.6
基礎疾患別	有	9.6	12.0	14.9	16.1	24.0
	無	9.2	10.6	10.8	11.6	19.6
重症度別	重症者	22.0	27.0	22.8	27.8	36.3
	以外	9.3	10.9	11.4	12.7	19.4
年代別	10代以下	8.8	8.6	8.5	9.0	12.3
	20代	8.6	9.3	10.3	8.6	13.0
	30代	9.2	10.7	9.4	9.4	21.4
	40代	9.7	10.9	11.4	9.8	20.9
	50代	9.9	12.3	11.4	13.0	21.2
	60代	10.6	14.1	14.2	12.9	25.0
	70代	11.4	16.2	17.0	16.4	23.9
	80代以上	11.3	15.9	16.3	16.7	29.8

## ○死亡者数

- ・第4期は11人が死亡、第5期は1人が死亡（いずれも70代以上）(単位：人)

	第5期		第4期		第3期		第2期		第1期	
	死亡	死亡率	死亡	死亡率	死亡	死亡率	死亡	死亡率	死亡	死亡率
10代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.3%
60代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%
70代	0	0.0%	1	2.4%	1	5.3%	1	2.4%	1	5.6%
80代以上	1	1.9%	10	16.9%	13	28.9%	2	10.0%	3	42.9%
合計	1	0.1%	11	1.3%	14	4.8%	3	2.5%	8	6.6%

○重症者 ※ICUに入室または人工呼吸器を装着した患者

・第4期は9人(1.0%)、第5期は6人(0.4%)が重症化

(基礎疾患内容)

糖尿病、アレルギー（ハウスダスト、花粉症）、腹部大動脈解離  
心不全、心原性脳梗塞、脳血管障害、パーキンソン病、肺癌

(BMI内訳) ※不明1名除く

～20未満 1名  
20以上25未満 3名  
25以上30未満 7名  
30以上 3名 平均27.7

(単位：人)

	第5期		第4期		第3期		第2期		第1期	
	重症	重症化率	重症	重症化率	重症	重症化率	重症	重症化率	重症	重症化率
10代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30代	1	0.4%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%
40代	0	0.0%	0	0.0%	2	4.9%	0	0.0%	1	5.9%
50代	2	1.0%	1	0.8%	2	4.8%	1	7.7%	7	19.4%
60代	1	1.1%	4	5.8%	4	12.9%	0	0.0%	7	36.8%
70代	1	1.9%	2	4.8%	5	26.3%	4	9.5%	3	16.7%
80代以上	1	1.9%	0	0.0%	4	8.9%	4	20.0%	4	57.1%
合計	6	0.4%	9	1.0%	17	5.6%	9	7.4%	23	18.9%

## ○感染経路別

### 【第4期】

- ・従来と同様に、県外由来と推定される感染事例が多かった。
- ・アルファ型変異株の流入に伴い、家族内や会社同僚間での感染拡大が増加したほか、従来は少なかった学校内での感染が増加した。
- ・4月、6月は飲食店での感染が多く確認された。
- ・医療従事者や高齢者へのワクチン優先接種の進行に伴い、医療・介護分野での感染が減少した。

### 【第4期（R3.3.1～7.19）】

（単位：人）

感染経路	第4期						（参考）			
	3月	4月	5月	6月	7月	合計	（割合）	第3期	第2期	第1期
家族	3	84	68	45	54	254	29.0%	91	32	30
飲食店	3	34	15	139	22	213	24.3%	3	51	32
県外	6	46	41	23	20	136	15.5%	57	17	—
会社同僚等	1	44	11	25	8	89	10.2%	38	5	25
学校（※）	0	46	9	7	23	85	9.7%	—	—	—
介護事業所	25	16	5	0	0	46	5.3%	11	—	9
医療施設	0	6	5	0	0	11	1.3%	50	—	—
その他	3	6	5	9	2	25	2.9%	41	12	18
不明	3	4	6	0	4	17	1.9%	10	5	8
合計	44	286	165	248	133	876	100.0%	301	122	122
月ごと割合	5.0%	32.6%	18.8%	28.3%	15.2%	100.0%	—	—	—	—

（※）「学校」の区分は第4期から新設

## 【第5期】

- ・従来と同様に県外由来と推定される事例が多く、これを発端として、感染力が非常に強いとされるデルタ型変異株流入の影響等により、家族内や会社同僚間、学校内で感染が広がる傾向がさらに顕著となった。
- ・当初は飲食店での感染拡大が見られたが、時短要請（8/11～9/12）の開始以降は減少した。
- ・第4期と同様に、医療・介護分野での感染は相対的に少なかった。

### 【第5期（R3.7.20～10.14）】

（単位：人）

感染経路	第5期						（参考）			
	7月	8月	9月	10月	合計	（割合）	第4期	第3期	第2期	第1期
家族	34	328	150	16	528	31.5%	254	91	32	30
会社同僚等	18	288	101	27	434	25.9%	89	38	5	25
県外	58	195	93	4	350	20.9%	136	57	17	—
学校（※）	26	75	35	1	137	8.2%	85	—	—	—
飲食店	39	67	9	0	115	6.9%	213	3	51	32
介護事業所	0	4	41	0	45	2.7%	46	11	—	9
医療施設	0	0	15	0	15	0.9%	11	50	—	—
その他	5	4	15	2	26	1.6%	25	41	12	18
不明	5	10	9	2	26	1.6%	17	10	5	8
合計	185	971	468	52	1676	100.0%	876	301	122	122
月ごと割合	11.0%	57.9%	27.9%	3.1%	100.0%	—	—	—	—	—

（※）「学校」の区分は第4期から新設

## ○感染伝播

- ・他者への感染事例は、第4期が29.0%、第5期が27.4%  
(家庭内感染のみの事例を除くと、第4期が16.4%、第5期が14.5%)
- ・家庭内感染を除いた感染者からは、第4期では平均3.1人、第5期では平均3.7人への感染が認められ、増加傾向
- ・積極的疫学調査による早期の濃厚接触者の特定や接触者も含めた広い範囲のPCR検査の実施などにより、大部分は2次感染までで収束

※第4期は172系統の感染事例のうち144例、第5期は396系統の感染事例のうち330例が2次感染まで

	家族以外にも移した				家族のみに移した				他者への感染なし		
	人数	感染させた数	年齢	性別	人数	感染させた数	年齢	性別	人数	年齢	性別
第5期	243名 (14.5%)	平均3.7人 (1-39人)	平均34.9歳	男：157名 女：86名	215名 (12.8%)	平均1.7人 (1-5人)	平均33.5歳	男：125名 女：90名	1,218名 (72.7%)	平均36.4歳	男：686名 女：532名
第4期	144名 (16.4%)	平均3.1人 (1-31人)	平均41.7歳	男：77名 女：67名	110名 (12.6%)	平均1.8人 (1-7人)	平均39.6歳	男：59名 女：51名	622名 (71.0%)	平均40.3歳	男：328名 女：294名
第3期	27名 (9.0%)	平均2.7人 (1-9人)	平均48.4歳	男：13名 女：14名	33名 (11.0%)	平均1.5人 (1-4人)	平均52.0歳	男：18名 女：15名	241名 (80.0%)	平均47.6歳	男：114名 女：127名
第2期	15名 (12.3%)	平均2.8人 (1-7人)	平均70.3歳	男：10名 女：5名	15名 (12.3%)	平均1.6人 (1-3人)	平均59.1歳	男：11名 女：4名	92名 (75.4%)	平均57.9歳	男：44名 女：48名
第1期	27名 (22.1%)	平均2.5人 (1-7人)	平均56.2歳	男：18名 女：9名	16名 (13.1%)	平均1.4人 (1-3人)	平均59.5歳	男：6人 女：10名	79名 (64.8%)	平均52.3歳	男：50名 女：29名

## ○濃厚接触者の発症率

### 【第4期】

- ・濃厚接触者のうち、陽性となった方の割合は19%
- ・家族内でも同程度の割合が感染

### 【第5期】

- ・濃厚接触者のうち、陽性となった方の割合は28%
- ・家族内では30%が感染
- ・従来より高い割合となった要因の一つに、第5期の主流であり、従来と比べ非常に感染力が強いとされるデルタ型変異株の影響があると推定される。

	第5期	第4期	第3期	第2期	第1期
<b>濃厚接触者【全体】</b>	<b>3497人</b>	<b>2330人</b>	<b>764人</b>	<b>288人</b>	<b>429人</b>
(うち陽性となった者)	966人 (28%)	432人 (19%)	154人 (20%)	56人 (19%)	57人 (13%)
<b>濃厚接触者【家族】</b>	<b>1681人</b>	<b>1201人</b>	<b>403人</b>	<b>146人</b>	<b>197人</b>
(うち陽性となった者)	512人 (30%)	233人 (19%)	80人 (20%)	32人 (22%)	22人 (11%)

## ○無症状病原体保有者（臨床的特徴を呈していないが、検査により陽性と診断された方）

- ・第3期までと同様に、積極的疫学調査による早期の濃厚接触者の特定や濃厚接触者以外の接触者も含めた広範囲のPCR検査の実施により、自覚症状が発現（※）する前に無症状病原体保有者を早期に発見  
（※）概ね、診断後より2日以内に自覚症状が発現
- ・第5期における無症状病原体保有者の割合は、従来と比べ低下した。
- ・無症状病原体保有者のうち、入院後に発熱等の自覚症状を発現した方の割合は、第4期および第5期のいずれも、従来と比べ低下した。
- ・従来と同様に、自覚症状の発現がなかった方の割合は1割程度

### 【感染者に占める無症状病原体保有者の状況】

（単位：人）

	第5期	第4期	第3期	第2期	第1期
①感染者数	1,676	876	301	122	122
②無症状病原体保有者 (②/①)	343 (20.5%)	265 (30.3%)	92 (30.6%)	35 (28.6%)	10 (8.2%)
③入院中に自覚症状発現 (③/①)	160 (9.5%)	133 (15.2%)	61 (20.3%)	24 (19.7%)	-
④自覚症状発現せず (④/①)	183 (10.9%)	132 (15.1%)	31 (10.3%)	11 (9.0%)	-

### 【接触者等も含めた広範囲のPCR検査の実施状況】

	第5期			第4期		
	高齢者施設	医療機関	学校・ 保育園・幼稚園	高齢者施設	医療機関	学校・ 保育園・幼稚園
施設数	14	5	83	8	6	52
検査数 (1カ所あたり)	1,522 (30-393)	1,361 (18-576)	8,948 (4-792)	1,967 (19-609)	869 (9-616)	8,459 (10-1,189)
検査により 確認した陽性者数	48	23	114	44	13	97

# ○マスク着用の有無

## 【第4期】

- ・感染元または感染先のいずれかがマスクを着用しない状況での会話や飲食を通じて感染したと推定される事例の割合は 82.3%

## 【第5期】

- ・感染元または感染先のいずれかがマスクを着用しない状況での会話や飲食を通じて感染したと推定される事例の割合は 80.2%
- ・感染元および感染先ともにマスクを着用した状況で感染したと推定される事例の割合は、第5期（5.1%）が第4期（2.4%）の約2倍となった。
- ・第5期の感染経路の特定可能な事例（「不明」を除いた事例）のうち、マスクを着用しない状況で感染したと推定される事例の割合は94%（1266/1346）

## 【マスク着用の有無 事例の内訳（推定含む）】

マスクの有無	家庭内外	飲食の有無		第4期 (4/1～7/19)		第5期 (7/20～10/14)		合計	
				事例数 (人)	割合	事例数 (人)	割合	事例数 (人)	割合
マスクなし	家庭内	飲食あり	①	280	33.7%	633	40.1%	913	37.9%
	家庭外	飲食あり（飲食店）	②	245	29.4%	164	10.4%	409	17.0%
		飲食あり（飲食店以外）	③	20	2.4%	14	0.9%	34	1.4%
		飲食なし	④	140	16.8%	455	28.8%	595	24.7%
小計（①～④の計）				<b>685</b>	<b>82.3%</b>	<b>1,266</b>	<b>80.2%</b>	<b>1,951</b>	<b>81.0%</b>
マスクあり			⑤	20	2.4%	80	5.1%	100	4.1%
不明			⑥	127	15.3%	232	14.7%	359	14.9%
合計（①～⑥の計）				832	100.0%	1,578	100.0%	2,410	100.0%

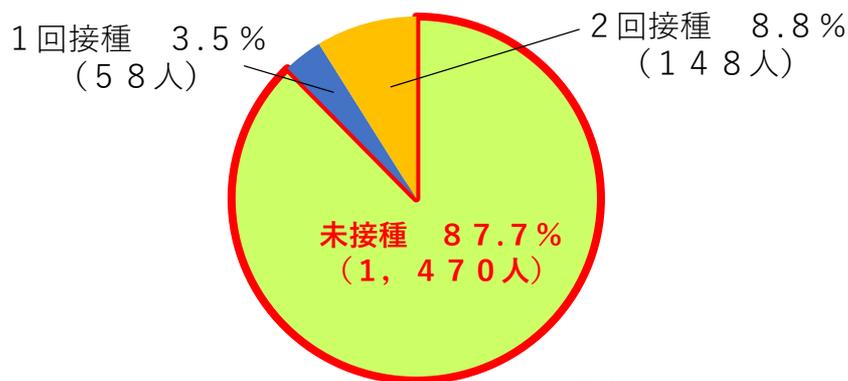
(注1) 調査は4月から開始

(注2) 行動履歴等が十分に把握できない事例は調査対象から除外

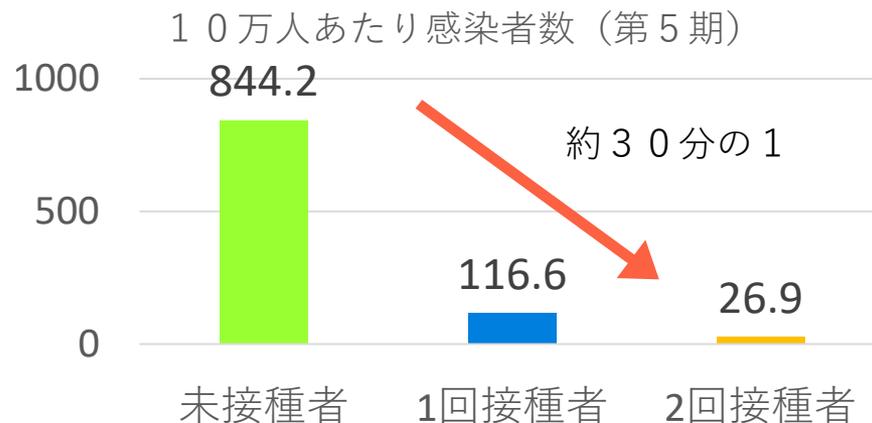
## ○第5期感染者におけるワクチン接種者

- ・調査を行った第5期感染者の約9割がワクチン未接種
- ・2回接種者は未接種者に比べ、10万人あたり感染者が約30分の1

【第5期感染者におけるワクチン接種者の割合】



感染者総数：1,676人



【ワクチンを接種した感染者の年代別構成】

(単位：人)

年齢	1回接種歴のある感染者		2回接種歴のある感染者	
	人数	割合	人数	割合
12～19歳	3	5.2%	2	1.4%
20代	10	17.2%	12	8.1%
30代	5	8.6%	11	7.4%
40代	13	22.4%	13	8.8%
50代	14	24.1%	12	8.1%
60～64歳	8	13.8%	7	4.7%
65歳～	5	8.6%	91	61.5%
計	58	100%	148	100%

※ 1回接種者が接種後2週間以内に感染している場合は、未接種者に計上

※ 2回接種者が接種後2週間以内に感染している場合は、1回接種者に計上

## 【課題】

- ・感染者の比重は、高年層から若年層へ移行しており、若年層のワクチン接種を促進するとともに、学校や職場など集団生活における感染対策の徹底が必要。
- ・感染経路として最も多いのが「家族内での感染」であり、外部から家庭内にウイルスを持ち込まないための感染対策が必要。
- ・従来と比べ感染力が非常に強いとされるデルタ型変異株の影響からか、1人の感染者が他者へ移した人数（家庭内感染を除く）は増加傾向にあり、濃厚接触者のうち陽性となった方の割合も高い状況にある。引き続き注意が必要。
- ・いまだ感染者の約9割が、マスクを着用していない状況で感染している。（不明除く）

## 【今後の対応】

- ・今後の発生が見込まれ第6波に備え、ワクチン未接種者に対して、早めの接種を呼びかけるとともに、接種を迷っている方の相談窓口を引き続き設置
- ・感染が比較的落ち着いている状況下でも、引き続きマスク着用の呼びかけを実施。
- ・人の移動が増え、感染リスクが高まる年末年始等には、感染対策の徹底を改めて呼びかける。

## (2) クラスター対策

### ○クラスターの発生状況（第4期）

- ・第4期において、同一の場において陽性者が5人を超えた事例は11件
- ・第1～3期は子どもの感染はあまりみられなかったが、第4期以降、学校・教育施設における子どもの集団感染事例が多くなっている。

No	種別	発生日	感染者数
1	福祉施設	3/25	33人
2	企業等	4/6	7人
3	福祉施設	4/8	9人
4	公的機関	4/18	8人
5	学校・教育施設	4/20	37人
6	医療機関	4/21	7人
7	学校・教育施設	4/24	7人
8	福祉施設	5/14	5人
9	企業等	6/17	8人
10	飲食店	6/22	348人
11	学校・教育施設	7/8	22人

## ○クラスターの発生状況（第5期（1））

- ・第5期において、同一の場において陽性者が5人を超えた事例が32件
- ・感染力の強いデルタ株の影響もあり、クラスター発生件数は過去最多

No	種別	発生日	感染者数
1	学校・教育施設	7/21	6人
2	飲食店	7/21	11人
3	学校・教育施設	7/22	18人
4	学校・教育施設	7/28	7人
5	飲食店	7/28	15人
6	施設	7/27	7人
7	学校・教育施設	7/31	27人
8	企業等	7/31	5人
9	福祉施設	7/31	5人
10	飲食店	7/27	5人
11	企業等	7/30	12人
12	企業等	8/2	9人
13	企業等	8/4	129人
14	企業等	8/7	17人
15	企業等	8/8	10人

## ○クラスターの発生状況（第5期（2））

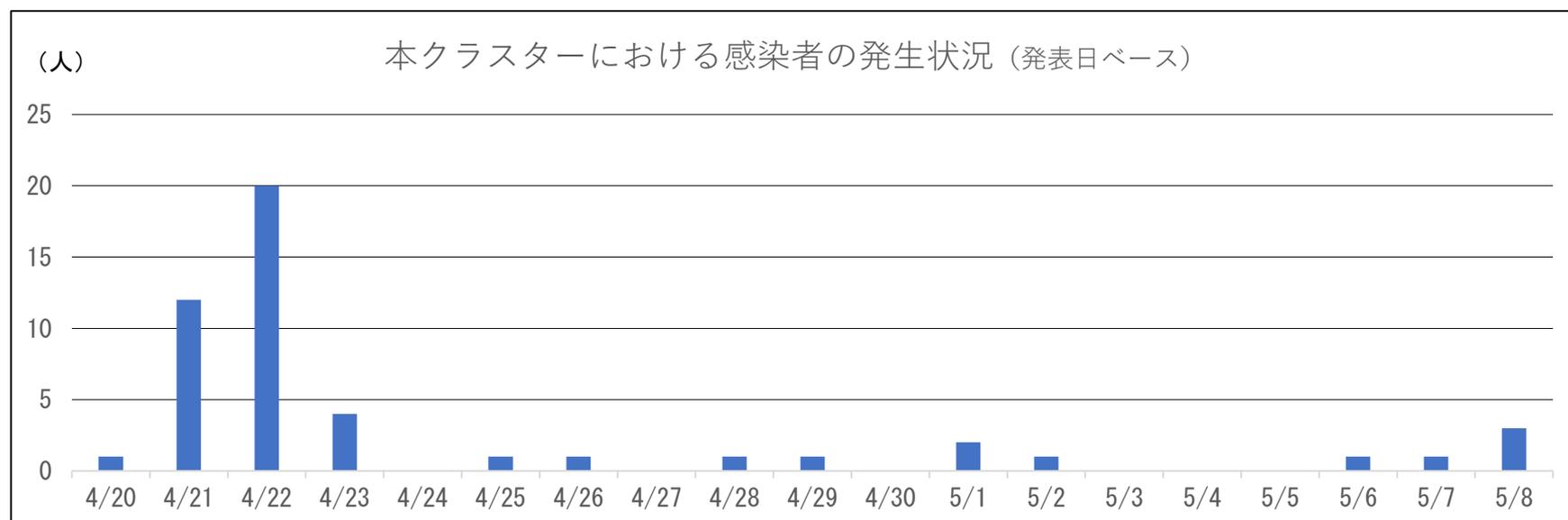
No	種別	発生日	感染者数
16	学校・教育施設	8/14	8人
17	スポーツジム	8/21	5人
18	学校・教育施設	8/24	17人
19	企業等	8/26	7人
20	その他	8/28	14人
21	学校・教育施設	9/1	7人
22	施術所	9/2	11人
23	学校・教育施設	9/4	5人
24	病院	9/4	8人
25	その他	9/7	31人
26	病院	9/7	6人
27	高齢者福祉施設	9/4	5人
28	その他	9/9	24人
29	高齢者福祉施設	9/21	39人
30	その他	9/28	8人
31	企業等	10/8	5人
32	企業等	10/12	13人

# ①学校・教育施設におけるクラスター対策

## 【状況】

- ・ 令和3年4月20日に1例目の陽性者が判明
- ・ 最終的に教職員5人、児童32人、家族等12人の計49人が新型コロナウイルスに感染

(参考) 児童数：415人、職員数：41人



## 【原因（推測）】

- ・ 陽性者の多くが無症状または軽症であり、発見が遅れた。
- ・ 家庭内において兄弟間で感染が発生し、複数の学年・クラスに感染が広がった。

## 【事例への対応および結果】

- ・複数の児童の陽性が判明後、全校児童および教職員へのスクリーニング検査を実施
- ・発生から5日後に国のクラスター対策班の派遣を要請

<クラスター対策班の活動内容>

活動日数：1日（4/25）

活動内容：①保健所と発生状況や疫学調査結果の共有  
②学校内の視察

- ・学校再開前に再度全校児童および教職員へのスクリーニング検査を実施
- ・発生から20日後の5月10日から学校再開

## 【課題】

- ・無症状者、軽症者の早期発見

## 【本事例を受けての対応】

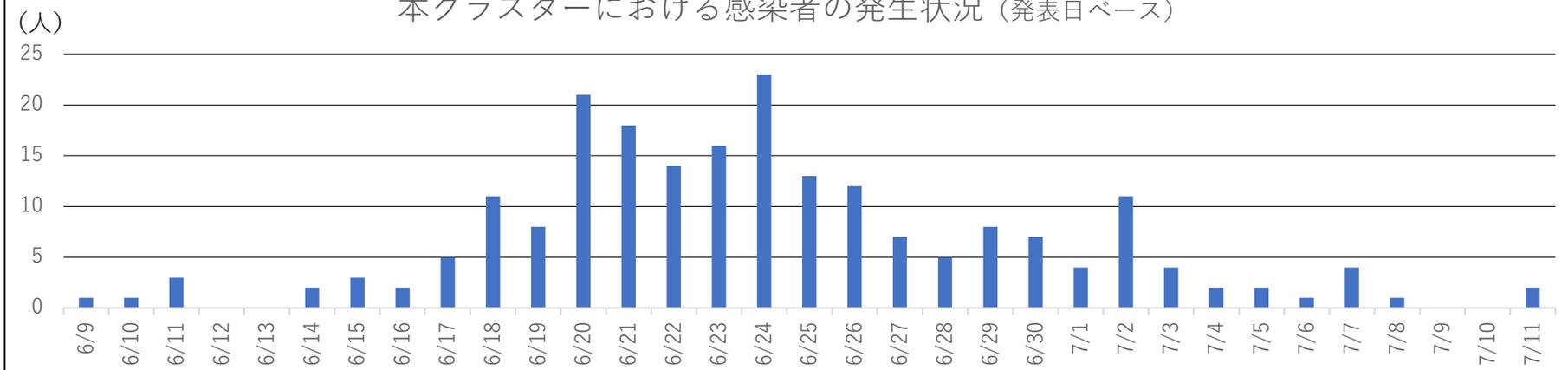
- ・教職員に対して、感染リスクのある行動（マスクなしでの会食、会合等）の自粛を再徹底（クラスター対策班から教職員初発の方が拡がりやすいとの助言あり）
- ・体調不良時の出勤および登校を控えることや早期受診するよう再周知
- ・学校サーベイランス体制の構築、保健所との迅速な情報共有
- ・学校が整備したマニュアルの再チェック

## ②繁華街におけるクラスター対策

### 【状況】

- ・ 令和3年6月9日に1例目の陽性者が判明
- ・ 最終的には1次感染（飲食店従業員・利用客）125人、2次感染（職場・家族等）76人、3次感染9人、4次感染1人の計211人が新型コロナウイルスに感染
- ・ 関連店舗は延べ34店舗 （参考）対象地区内施設数：1,155店舗（順化地区における飲食店営業許可件数\*）  
\*休業中店舗等を含む

本クラスターにおける感染者の発生状況（発表日ベース）



### 【原因（推測）】

- ・ 店内におけるマスク会食等の感染対策が徹底されていなかった。
- ・ 県が求める4人以下の基準を大きく超える大人数での会食の事例があった。
- ・ 複数店舗での連続した飲食や他店舗従業員との交流など、複数店舗で接触がまたがる機会があった。
- ・ 調査や検査に非協力的な方もおり、接触者への対応が難航。検査の遅れから2次感染、3次感染も散見された。

## 【事例への対応および結果】

- ・ 感染対策特別地域に指定（令和3年6月21日～7月4日）
- ・ 当該地区の飲食店事業主・従業員を対象にPCR検査を集中実施

### <検査実績>

検査日：6/23～27（5日間）

検査数：1,751人

（うち陽性者数9人（陽性率：0.51%））

受検施設：786店舗（68.1%）

（参考）飲食店従業員一斉検査例

	福井県	石川県	香川県	沖縄県 （松山地区）	彦根市
検査日	R3.6.23-27 （5日間）	R3.2.19-28 （10日間）	R3.4.21-6.24	R2.8.1-2 （2日間）	R3.3.14-20 （7日間）
検査者	1,751人	1,230人	4,228人	2,078人	151人
陽性数	9人	2人	1人	86人	0人
陽性率	0.51%	0.16%	0.02%	4.1%	0%

- ・ 接待を伴う飲食店等に対し、ふくい安全・安心認証店の認証取得を呼びかけ
- ・ 事業主、従業員同士の会食の自粛を要請

## 【課題】

- ・ 飲食店従業員および利用客双方におけるマスク会食等の感染対策の定着

## 【本事例を受けての対応】

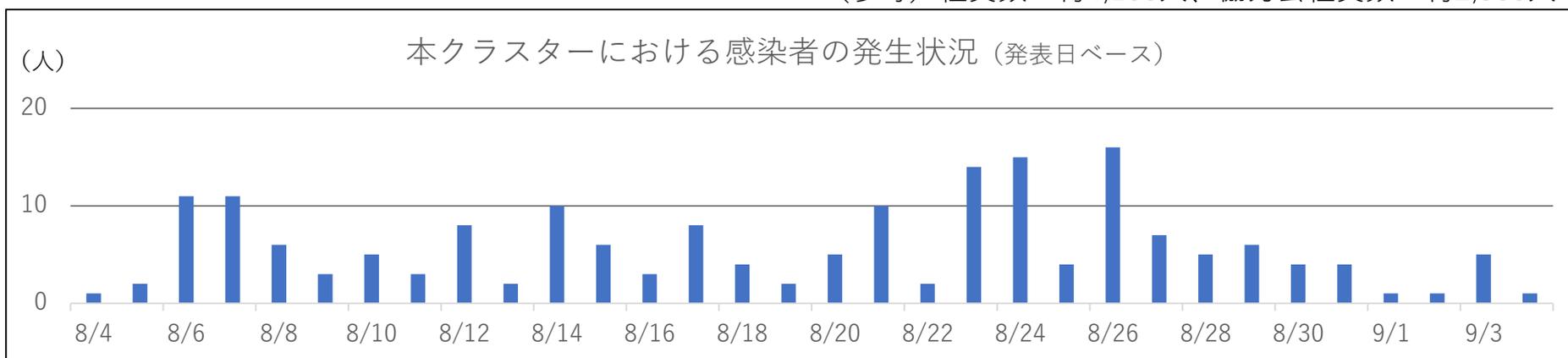
- ・ マスク会食を含む感染対策の再徹底の呼びかけ
- ・ 感染拡大時の時短営業の要請

### ③企業におけるクラスター対策

#### 【状況】

- ・令和3年8月3日に1例目の陽性者が判明。3日後の8月6日には、事業所の各部署で陽性者が判明し、それぞれの家族にも既に感染が拡大している状況であった。
- ・最終的には社員（協力社員含む）129人と家族等56人が新型コロナウイルスに感染

（参考）社員数：約4,100人、協力会社員数：約2,500人



#### 【原因（推測）】 3つの波の要因

- ① 県外者と接触機会があった者が、地域活動に参加し周囲に感染拡大

具体例) パーティー会食、海水浴、BBQ、スポーツ交流

- ② 感染者が出勤し、社内で感染が拡大

具体例) 陽性患者の80%近くが感染可能期間に出勤。また、約44%が症状に気づきながらも出勤  
歯磨き・食堂等の共有スペースや、騒音が大きい製造工程でのマスクをずらしての会話

- ③ 感染対策のための行動ルールが順守されておらず、再拡大

具体例) 自粛を求めている中でのカラオケや複数人での会食

## 【事例への対応および結果】

- ・ 関係機関や市に在籍する通訳者の確保
- ・ 会社との協働による感染対策の実施
  - ①一定期間の操業停止
  - ②全従業員に対するスクリーニング検査の実施（行政検査、自主検査）
  - ③社内・地域巡回パトロールの実施（8/31～）
  - ④メールやリーフレットによる啓発活動の実施（外国語にも対応）
  - ⑤ワクチンの職域接種の実施（9/6～）
- ・ 最後の陽性者判明から14日が経過した9月18日に終息宣言

## 【課題】

- ・ 言語の違いにより情報の正確な聞き取りが困難であった。
- ・ 陽性者および接触者の人数に対応できる通訳者数が不足していた。
- ・ 入院療養中の陽性者支援に対応できる通訳者も不足していた。

## 【本事例を受けての対応】

- ・ 発生段階で集団活動を止め、感染の広がりを確認した上で、適切な再開時期を決定
- ・ 感染防止対策を継続するため、企業と一体となった取り組みを推進
- ・ 迅速かつ継続的に十分な数の通訳者の確保

## (3) 検査体制（PCR検査・抗原検査）

### 【これまでの実施状況】

#### ①検査数と検査可能数

- ・ 1日あたりの検査数は令和3年9月6日の1,291件が最も多い。  
(検査開始以来最多)
- ・ 297機関の診療・検査医療機関との契約、医療機関や民間検査機関における検査機器の整備により、検査可能数は8,406件/日（抗原検査を含む）に拡充。

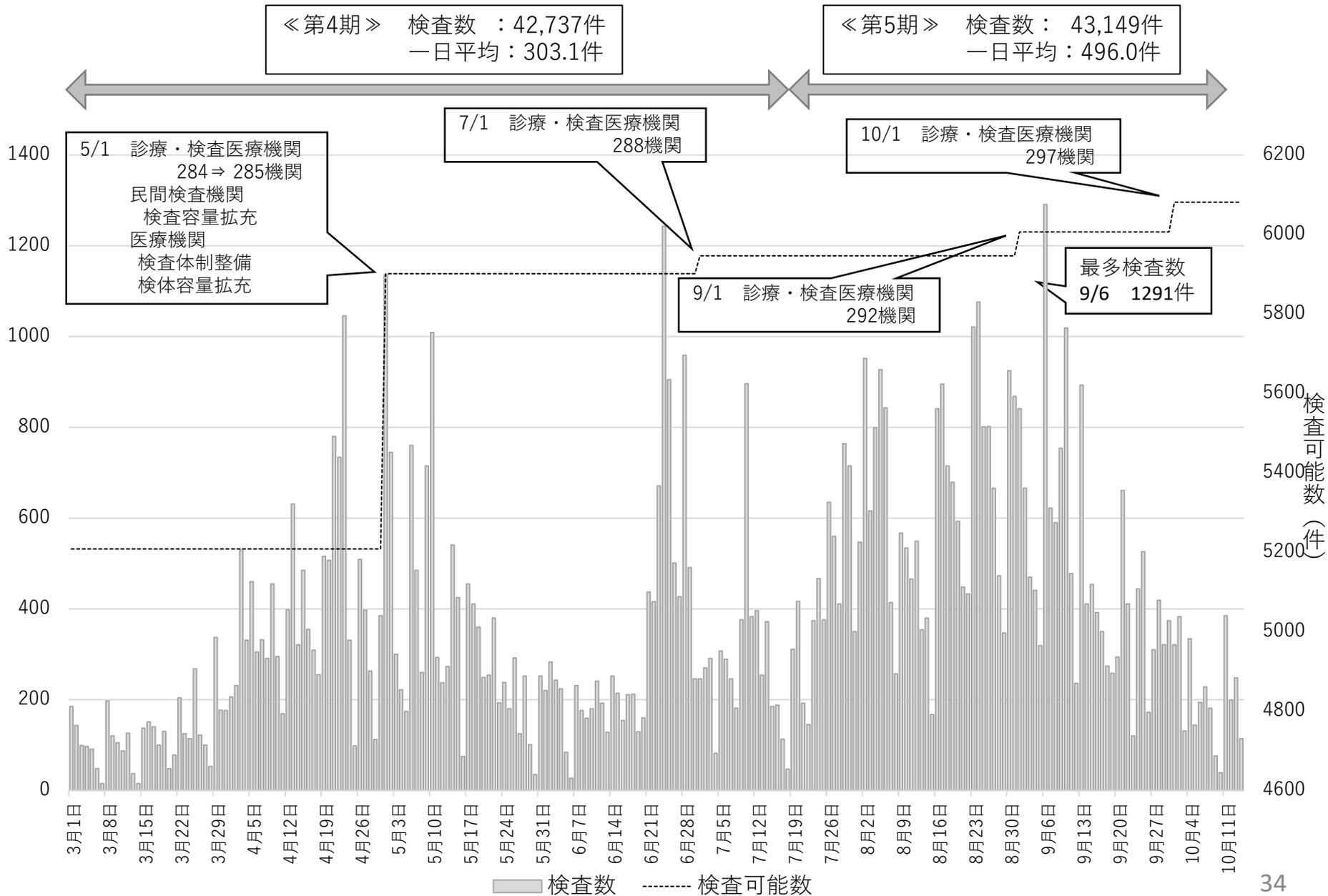
#### ②陽性者数と陽性率

- ・ 陽性者の確認は令和3年8月25日の56人が最も多い。  
(検査開始以来最多)
- ・ 陽性率は令和3年6月20日の17.1%が最も高い。  
(最高は令和2年3月25日の57.1%)

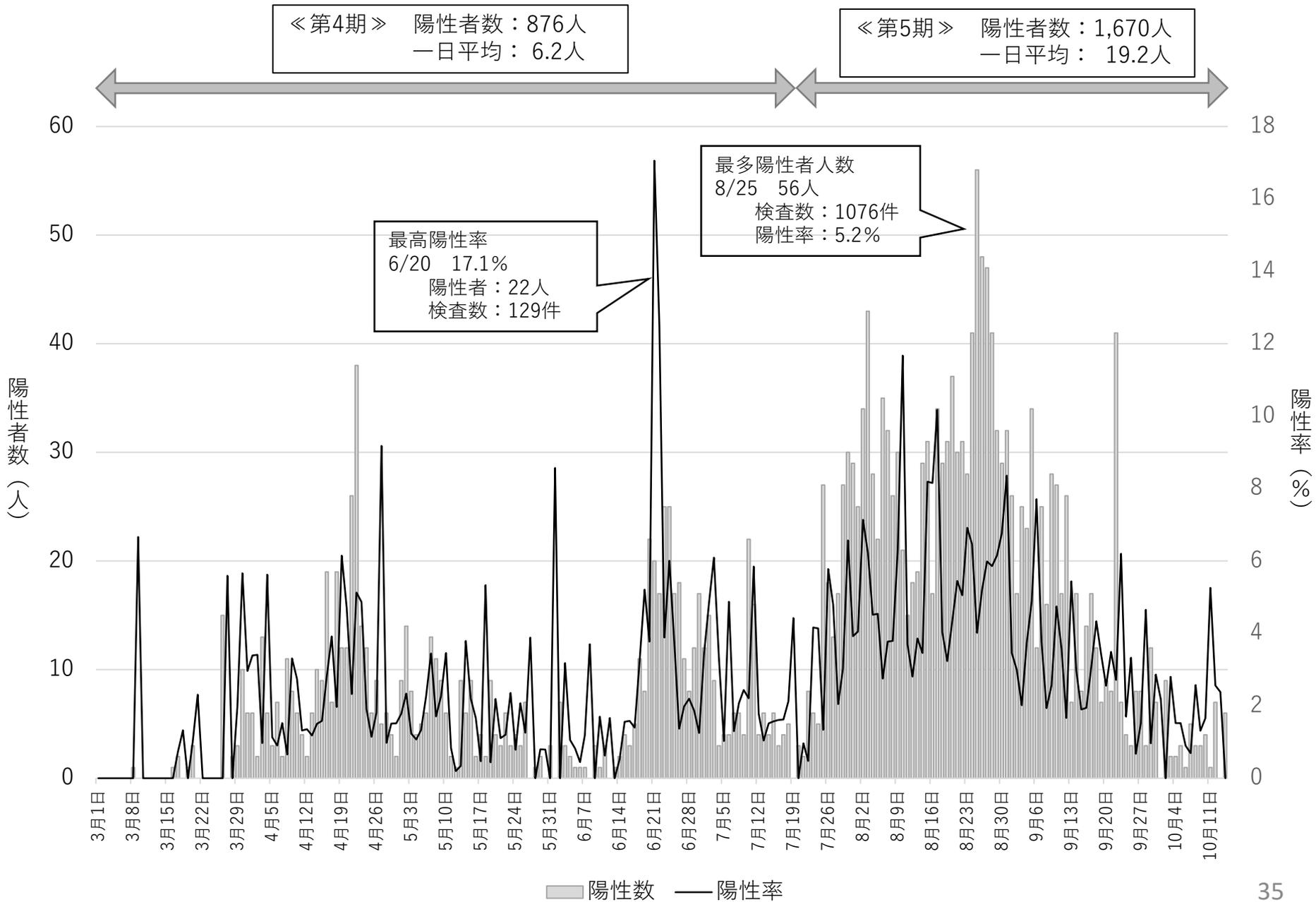
#### ③変異株検査

- ・ 令和3年3月よりN501Y（アルファ株）、6月よりL452R（デルタ株）のスクリーニング検査を開始。
- ・ 8月中旬より次世代シーケンサーを用いた変異株の同定を開始。

# ①検査数と検査可能数



## ②陽性者数と陽性率



## 【課題】

- ・ 遺伝子検査で陽性となっても偽陽性の場合もあるため、陽性の確定には疫学情報や再検査の結果を元に慎重に判断を行った。
- ・ クラスタ発生時には一度に数百件の検査が要求されることが多く、結果の緊急性、検査の処理能力を考慮し、検査の調整を行った。
- ・ 変異株の同定のために、同一系統で1名以上の検体を収集した。陽性確定時の残検体が無い場合には、入院医療機関において再度検体採取を依頼しなければならないこともあり、医療機関、患者への負担が大きかった。

## 【今後の対応】

- ・ インフルエンザシーズンに備え、診療・検査医療機関における診療、検査の体制を維持
- ・ 検査の処理能力を超える検査数の依頼があった場合は、プール法を活用
- ・ 衛生環境研究センターにおいて、次世代シーケンサーを用いた変異株の同定を定期的に行い、変異株のモニタリングを実施

## (4) 相談体制（受診・相談センター・AIモニタリング）

### 【これまでの実施状況】

- ・令和2年11月1日から、『受診・相談センター』に名称を変更し、かかりつけ医を持たない県民の相談窓口として、診療・検査医療機関の案内や保健所からの依頼に基づくPCR検査の受診調整等を実施
- ・受診・相談の流れが変更となったが、診療・検査医療機関を確保し、受診・相談センターの体制を整備したことにより、発熱患者等の適切な相談および診療・検査ができています。
- ・受診・相談センターの継続的な周知広報により、県民だけでなく、来県者にも相談窓口が周知され、相談から必要な方の早期検査に結び付けることができた。
- ・誹謗中傷については、AIを活用したモニタリングを令和2年11月から実施し、問題があると思われる書き込みを342件発見

### 【課題】

- ・県民がスムーズに相談ならびに診療・検査が受けられるよう、体制を維持するとともに、自費検査を含めた検査可能な医療機関の周知を図っていく必要がある。

### 【今後の対応】

- ・第6期に向け、新型コロナに関する一般的な相談や予約に関する事務作業の外部委託や事務の効率化を図ることにより、クラスター発生時の多数の相談や受診調整等により迅速に対応できるよう、体制の充実を図る。

# 第4期 (3/1~7/19) ・ 第5期 (7/20~10/14) 受診・相談センター実績

<第4期 (3/1~7/19)>

総相談件数 (平均)	12,004件 (85.1件)
・一般相談	3,060件 (21.7件)
・症状に関する相談	5,889件 (41.7件)
・受診調整	3,055件 (21.7件)

<第5期 (7/20~10/14)>

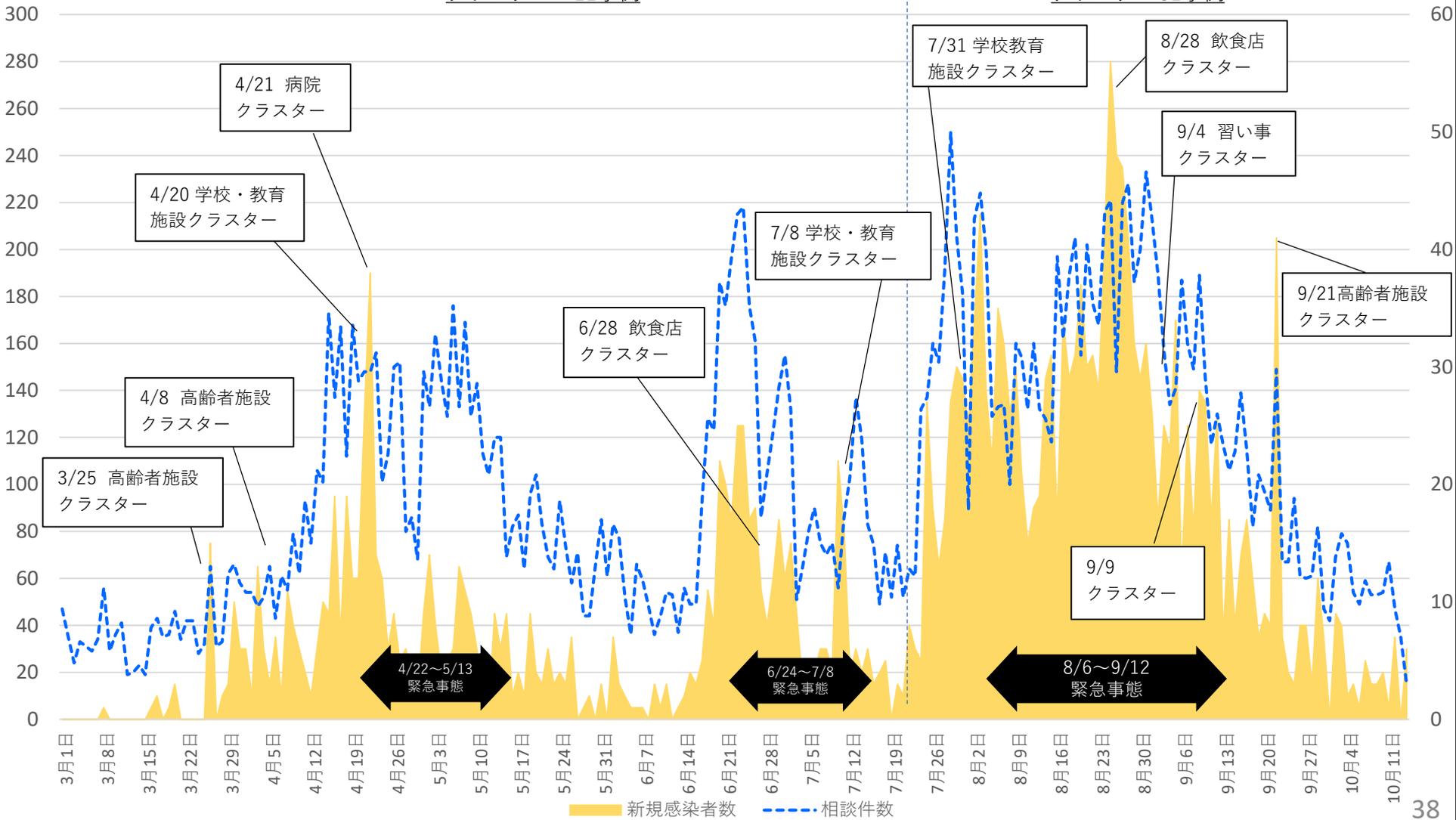
総相談件数 (平均)	11,286件 (129.7件)
・一般相談	2,609件 (29.9件)
・症状に関する相談	34,359件 (50.1件)
・受診調整	4,318件 (49.6件)

感染者数：876人  
 クラスター 11事例

感染者数：1,676人  
 クラスター 31事例

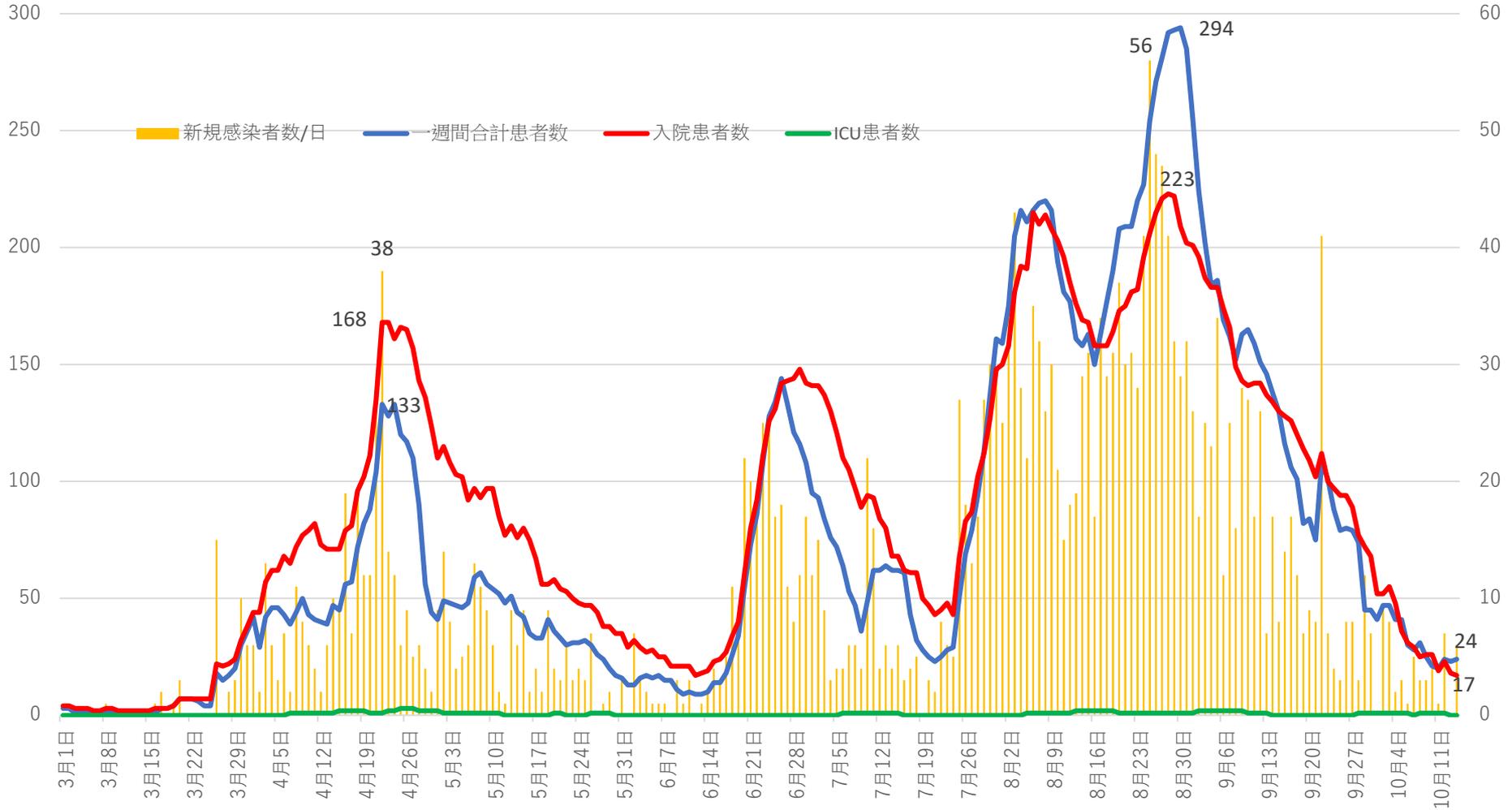
相談件数  
 (件)

新規感染者  
 (人)



# (5) 県民への要請 (警報・注意報等)

## 1週間患者数・入院患者数等の動向



県独自の発令状況





# 【これまでの実施状況】

(第4期)

3/30	「 <b>感染拡大注意報</b> 」発令 (～4/2 4日間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会話時のマスク着用の徹底</li></ul>
4/3	「 <b>感染拡大警報</b> 」発令 (～4/15 14日間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会話時のマスク着用「おはなしはマスク」徹底</li><li>・ まん延防止等重点措置地域との往来自粛</li></ul>
4/16	「 <b>感染拡大特別警報</b> 」発令 (～4/21 6日間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ GoToイート、ふくいdeお得キャンペーンの 新規予約・販売停止</li></ul>
4/22	「 <b>緊急事態宣言</b> 」発出 (～5/13 22日間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県外と往来した家族がいる場合、家庭内において も「おはなしはマスク」</li><li>・ 県外との不要不急の往来自粛</li></ul>
5/14	「 <b>感染拡大特別警報</b> 」発令 (～5/20 6日間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「おはなしはマスク」の徹底</li><li>・ 県外との不要不急の往来自粛</li></ul>
5/21	「 <b>感染拡大警報</b> 」発令 (～6/3 14日間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県外との不要不急の往来自粛</li><li>・ GoToイート、ふくいdeお得キャンペーンの新規 予約・販売再開</li></ul>
6/4	「 <b>感染拡大注意報</b> 」発令 (～6/19 16日間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「おはなしはマスク」の徹底</li><li>・ 県をまたぐ移動は慎重に判断</li><li>・ 5人以上の会食はテーブルを分けて</li></ul>

6/20	「 <b>感染拡大警報</b> 」発令 (～6/23 4日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県をまたぐ移動は慎重に判断</li> <li>・感染対策特別地域の指定 (6/21～7/8)</li> </ul>
6/24	「 <b>緊急事態宣言</b> 」発出 (～7/8 15日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策特別地域におけるワクチン接種推進</li> <li>・会食は4人以下でマスク会食徹底</li> </ul>
7/9	「 <b>感染拡大特別警報</b> 」発令 (～7/22 14日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはなしはマスク」の徹底</li> <li>・会食はマスク会食、4人以下</li> </ul>

(第5期)

7/22	「 <b>感染拡大警報</b> 」発令 (～8/2 12日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みのお出かけは県内へ (消費喚起事業再開)</li> <li>・会食はマスク会食、4人以下</li> </ul>
8/3	「 <b>感染拡大特別警報</b> 」発令 (～8/5 3日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県境をまたぐ旅行・帰省等は原則中止・延期</li> <li>・同居家族以外との不要不急の外出は慎重に</li> <li>・恐竜博物館等の臨時休館</li> </ul>
8/6	「 <b>緊急事態宣言</b> 」発出 (～9/12 38日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店に対する営業時間短縮要請 (第1期：8/11～24、第2期：8/25～9/12)</li> <li>・県境をまたぐ旅行・帰省等は原則中止・延期</li> <li>・同居家族以外との不要不急の外出は慎重に</li> </ul>
9/13	「 <b>感染拡大特別警報</b> 」発令 (～9/30 18日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県境をまたぐ旅行・帰省は原則中止・延期</li> <li>・会食は「認証店」「マスク会食」「4人以下」</li> </ul>
10/1	「 <b>感染拡大警報</b> 」発令 (～10/14 14日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県境をまたぐ移動は慎重に判断</li> <li>・お出かけは県内へ (消費喚起事業の再開)</li> <li>・会食は「認証店」「マスク会食」「4人以下」</li> </ul>

# ①「おはなしはマスク」の推進（R3.4～）

- ・陽性者の8割がマスク未着用であったことから、会話時のマスク着用を徹底する「おはなしはマスク」を推進



## （活動実績）

活動の主体として、県や市町、民間団体で構成する「おはなしはマスク推進協議会」を設立（R3.5.18）

### ①マスク会食の推進

- ・飲食店（約3,000店）をマスク会食推進店（=ふくい安全・安心認証店）として、利用者にマスク会食を呼びかけ
- ・マスク会食推進店にマスク配布（計94万枚）



（飲食店内の様子）

### ②マスク寄付の募集

- ・マスク会食を推進するため、県民からマスクの寄付を募集  
寄付実績 76万枚

### ③啓発グッズの開発・販売

- ・民間企業等と連携して啓発グッズを開発
- ・啓発に協力する企業等を募集し、啓発グッズを配付



※合わせてマスク着用が困難な方が使用する「マスクがつけられません」マークを県ホームページに公開

## 【課題】

- ・ 普段一緒にいる親しい間柄の集まり（打ち上げ、同窓会、親戚の集まり、バーベキュー）においては、会話時のマスク着用が徹底されず、感染拡大につながった。
- ・ ふくい安全・安心認証店における利用者へのマスク会食の呼びかけ、利用者における実施が不十分
- ・ 体調等が理由で、マスク着用が困難な方への配慮が必要

## 【今後の対応】

- ・ マスクを外してしまいがちな具体的な場面について、県民にわかりやすく周知  
(R3.10.31福井新聞・県民福井 朝刊 全面広告)
- ・ 基本的な感染対策として、会話時のマスク着用を徹底するよう引き続き県民に要請
- ・ 今後も、ふくい安全・心認証店におけるマスク会食の推進を含む感染対策の実施状況について、適宜現地確認を行うことを検討

## ②感染対策特別地域の指定（R3. 6. 21～7. 8）

福井市順化地区の飲食店において感染拡大が見られたことから、当該地域を「感染対策特別地域」に指定し、集中的な対策（PCR検査、ワクチン接種等）を実施し、安心して利用できる環境を整備

### （対象地域）

福井市順化地区（福井市順化1～2丁目、中央1～3丁目、大手1～3丁目）

### （実施内容）

#### （1）検査体制の強化

- ・当該地区の飲食店事業主・従業員を対象にPCR検査を集中実施（再掲）

#### （2）感染対策の再徹底

- ・県・市職員が当該地区の飲食店を訪問し、感染対策の徹底と第三者認証の取得を呼びかけ

#### （3）ワクチン接種の推進

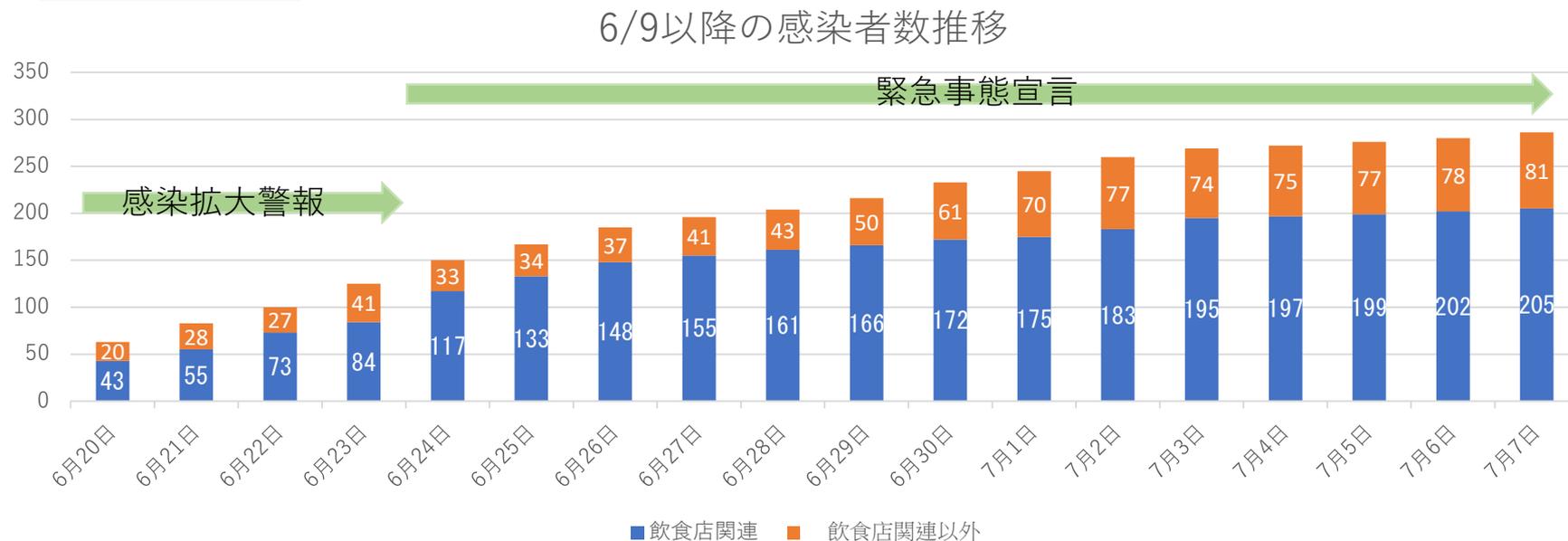
- ・社交飲食業生活衛生同業組合など関係団体と連携し、地域内の飲食店従業員等に対するワクチン接種を推進

## (指定解除に伴う経済支援策)

- ・ 中小企業事業継続支援金の対象期間を令和3年1～5月から1～7月に延長
- ・ ふく割「マスク会食割」(順化地区限定)を発行(R3.10～)
- ・ ふくいdeお得キャンペーン 宿泊・日帰りツアーの造成
- ・ GoToショッピング消費喚起キャンペーン(順化地区)を開催(R3.10～)
- ・ 県・市職員がランチ・デリバリーで当該地区飲食店を応援

## 【課題・今後の対応】

- ・ 地域指定と集中的対策により早期に感染収束が見られたが、第三者認証制度の推進など安心して利用できる環境の整備や経済的な支援策とセットで継続的に実施する必要がある。



### ③飲食店に対する営業時間短縮要請

(実施内容) 新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づく要請

- (1) 対象施設 食品衛生法上の営業許可を取得している飲食店  
ただし、「ふくい安全・安心認証店」(申請中を含む)は除く。  
※対象外施設: 宅配・テイクアウト、イートイン、ネットカフェ等
- (2) 対象区域 県内全域
- (3) 要請内容 5時から20時までの時間短縮営業(酒類の提供は19時まで)
- (4) 要請期間 第1期 令和3年8月11日(水)～令和3年8月24日(火) 14日間  
第2期 令和3年8月25日(水)～令和3年9月12日(日) 19日間

#### (協力金)

- ・全期間要請に応じた場合に支給

中小企業 1日あたり2.5万円～7.5万円

大企業等 1日あたり最大20万円

※ふくい安全・安心認証店が自主的に時間短縮営業を実施した場合も協力金を支給

- ・協力金支給実績(11/9現在)

	中小企業等		大企業等		計	
	件数	支給額(千円)	件数	支給額(千円)	件数	支給額(千円)
8/11～8/24	2,971	1,442,820	21	67,984	2,992	1,510,804
8/25～9/12	2,967	1,897,397	19	61,047	2,986	1,958,444
計	5,938	3,340,217	40	129,031	5,978	3,469,248

## (見回り)

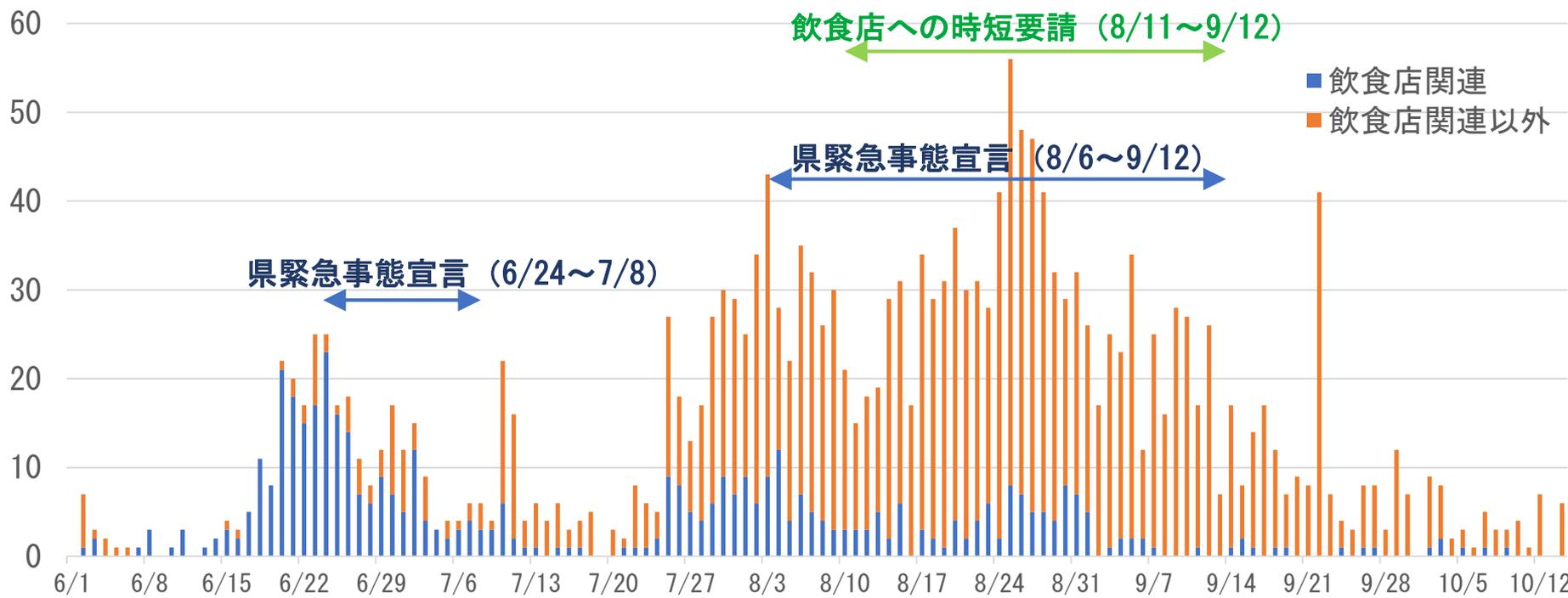
- ・ 20時以降、飲食店の営業状況について見回りを実施（各期間につき1回以上）

	総店舗数	閉店店舗数	営業店舗数	時短割合
8/11～8/24	5,080	4,823	257	94.9%
8/25～9/12	5,078	4,828	250	95.1%

## 【課題・今後の対応】

- ・ 時短要請は私権制限を伴うため、実施については感染状況を踏まえ慎重に判断
- ・ ふくい安全・安心認証店の拡大による感染対策の強化

(人) 飲食店関連（2次感染等含む）の感染者の発生状況



## ④県境をまたぐ移動

- ・ 県外由来の系統が9割を超えていたことから、県境をまたぐ不要不急の往来を控えるよう要請

(第4期)

- ・ 要請内容「すべての都道府県との不要不急の往来を控える」(4/22~6/3)
- ・ 来県者に向けて啓発ポスター作成し、来県前からの感染対策を要請
- ・ 県内主要駅にA Iサーマルカメラを増設、体調不良時の連絡先を周知

福井県に来られる皆さまへ

### 来県前から感染対策をお願いします

福井県マスコットキャラクター「はびりゅう」

- ☑ 来県前は、多人数での会食など感染リスクの高い行動を控える
- ☑ 来県の前後を含めて、毎日の検温など体調管理を徹底
- ☑ 来県後、体調不良の場合は受診・相談センターに速やかに連絡(0776-20-0795)

来県後の飲食は感染リスクを下げながら

- ☑ 体調が悪い人は参加しない
- ☑ 少人数・短時間で(5人以上はテーブルを分け、テーブル間の移動をしない)
- ☑ 「静かなマスク会食」を徹底
- ☑ 感染防止徹底宣言ステッカー掲示店舗を利用

福井県ホームページ  
新型コロナウイルス  
感染症対策

福井県観光局  
インフォメーション  
センター  
0776-20-0795

福井県



JR福井駅 (改札出口)



## (6) 飲食店の第三者認証

### 【これまでの実施状況】

- ・ 感染防止対策およびマスク会食を推進する飲食店を「ふくい安全・安心飲食店」として認証する制度を令和3年6月から導入
- ・ 調査員が飲食店を現地調査し、認証基準に適合しているか確認した上で認証
- ・ 認証店には認証ステッカーおよび奨励金10万円を交付  
(奨励金の交付は、10/31をもって終了)

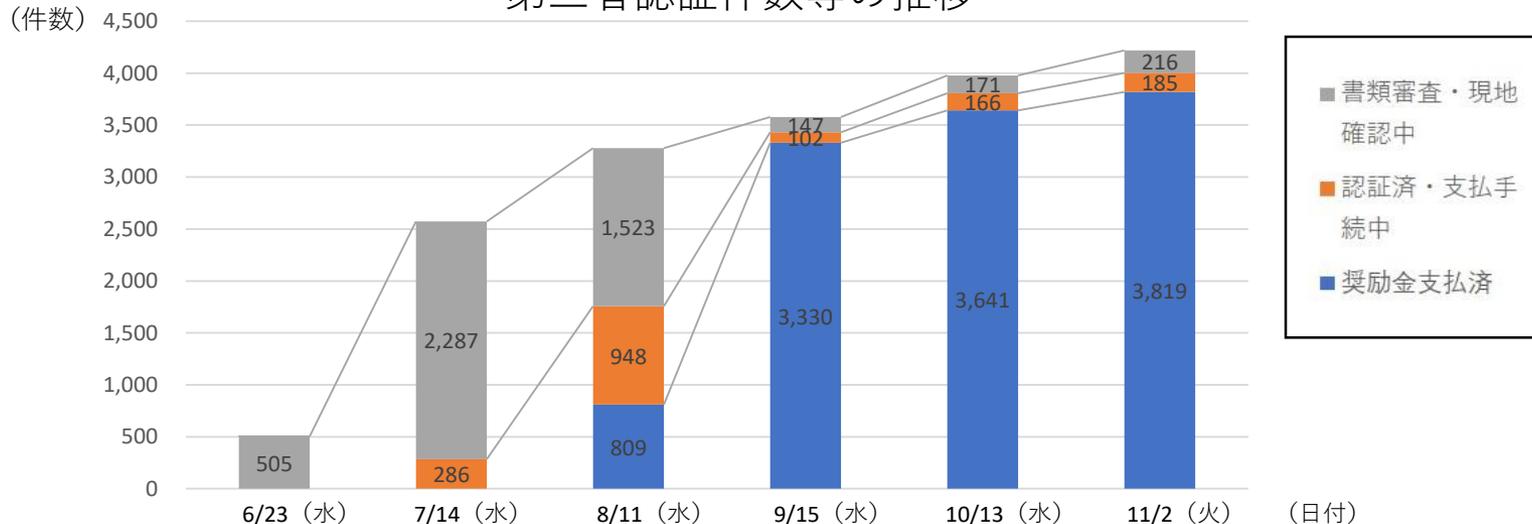
6/15 申請受付開始

申請件数 4,220件 (11/2時点)

認証件数 4,004件 (11/2時点)



第三者認証件数等の推移



## 【課題】

- ・ 認証の対象である県内飲食店約5,100軒のうち、約900軒が未申請
- ・ 認証店に、感染防止対策（認証基準適合）とマスク会食推進の取組みを維持・継続させ、第三者認証制度の実効性を高めることが必要
- ・ 特に忘新年会シーズンに向け、感染防止対策の徹底を促すことが必要

## 【今後の対応】

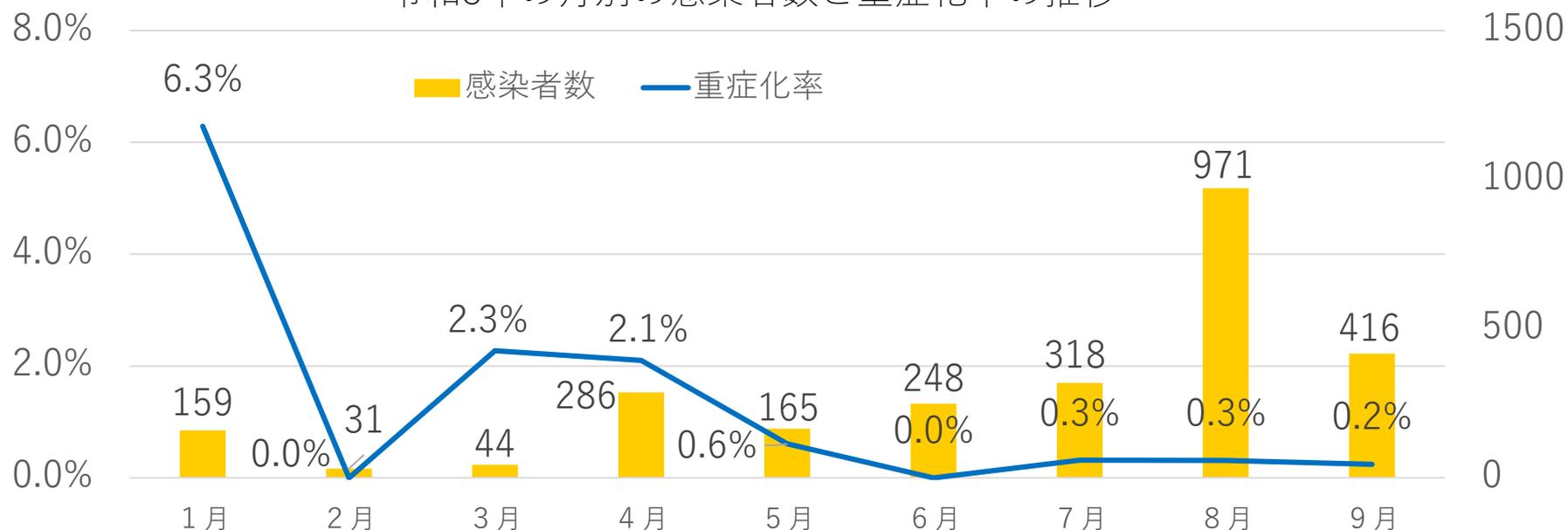
- ・ 県民への認証店利用の広報により、未申請店舗からの認証申請を促進
- ・ 通報等により基準不適合が疑われる認証店に対しては、電話や文書での注意に加え、必要な場合は再度の現地確認と指導を実施
- ・ 忘新年会シーズン前に、認証店に対して、マスク会食をはじめとした感染防止対策の徹底を要請。大規模宴会場を有する認証店には、再度の現地確認と指導を実施

## (7) 評価指標

### (評価指標見直しに当たっての考え方)

- ・ 月別の感染者数は増加しているものの、ワクチン接種が進み、重症化率が低下。  
病床に与える影響が低減
- ・ さらに、第5期においては、1週間の新規感染者数に加え、病床利用率が  
ステージ4に至った段階で「緊急事態宣言」を発出。  
こうした実績も踏まえ、発令基準を一段階ずつ引き上げ

令和3年の月別の感染者数と重症化率の推移



## 【見直し前】

			—	ステージⅠ相当	ステージⅡ相当	ステージⅢ相当	ステージⅣ
			注意報	警報	特別警報	緊急事態	参考
医療提供体制	病床のひっ迫具合						
	①病床全体	現時点確保病床数 (424床)の占有率	15%程度 (65～75床)	20%程度 (85～95床)	30%程度 (125～135床)	35%程度 (145～155床)	50%以上 (212床)
	②うちICU	現時点確保病床数 (24床)の占有率	15%程度 (4床)	20%程度 (5床)	30%程度 (7床)	35%程度 (8床)	50%以上 (12床)
感染の状況	③直近1週間の新規感染者数 (人口10万人あたり1週間の新規感染者数)		概ね10人～20人 (1.2人～2.5人)	概ね30人～40人 (3.8人～5.1人)	概ね60人～80人 (7.6人～10.2人)	115人以上 (15人)	192人以上 (25人)

## 【見直し後】 令和3年10月1日施行

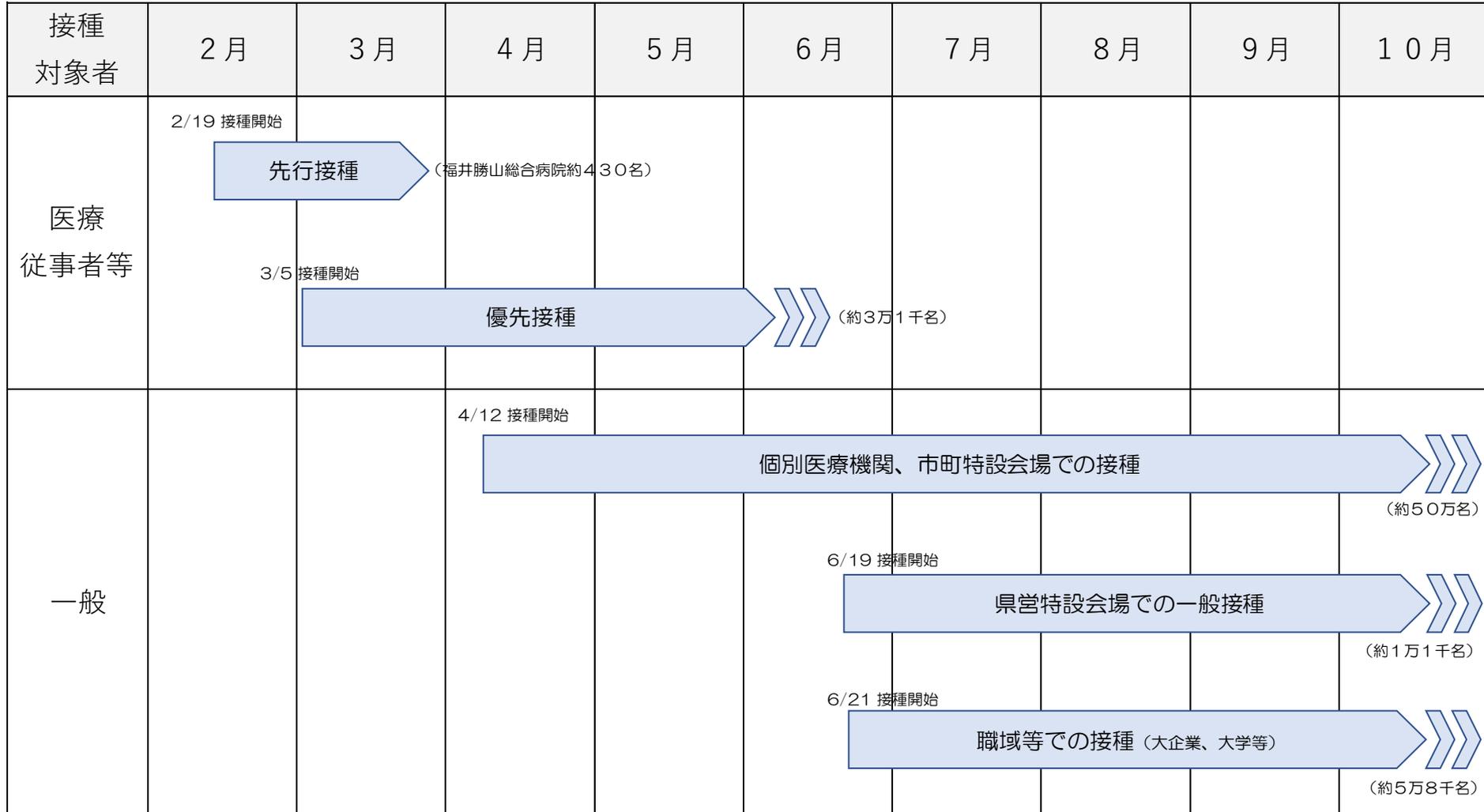
				ステージⅠ相当	ステージⅡ相当	ステージⅢ相当	ステージⅣ
				注意報	警報	特別警報	緊急事態
医療提供体制	病床のひっ迫具合						
	①病床全体	現時点確保病床数 (424床)の占有率	—	20%程度 (85～95床)	30%程度 (125～135床)	40%程度 (165～175床)	50%以上 (212床)
	②うちICU	現時点確保病床数 (24床)の占有率	—	20%程度 (5床)	30%程度 (7床)	40%程度 (10床)	50%以上 (12床)
感染の状況	③直近1週間の新規感染者数 (人口10万人あたり1週間の新規感染者数)		—	概ね70人～80人 (10人)	概ね110人～120人 (15人)	概ね150人～160人 (20人)	192人以上 (25人)

※今後、国の発令基準が見直される場合は再度検討

## 2 ワクチン接種

# (1) 全体スケジュール

## ○主な接種スケジュール



※接種人数は10月14日時点の概数

## (2) 接種体制構築に向けた関係機関との調整

### ○医療機関

- ・ 1月19日 新型コロナウイルスワクチンに係る県内医療機関会議
- ・ 1月28日 郡市区等医師会長会議（県医師会主催）
- ・ 2月16日 福井県医師会病院長協議会代表者会議（県医師会主催）
- ・ 2月23日 医療機関向け説明会（県医師会・県共催）

※嶺北・嶺南の各会場にて開催し、県内の医療関係者計323名が参加

### ○市町等

- ・ 2月2日～ 健康福祉センター管内会議
- ・ 5月24日 市町長との意見交換会
- ・ 8月17日 市長との政策ディスカッション
- ・ 8月19日 町長との政策ディスカッション
- ・ 随 時 市町担当課長会議（計5回）

開催日	内 容
令和2年12月23日	市町の対応状況と課題について
令和3年 2月26日	高齢者向けワクチン配分方法について（全市町一斉開始 など）
令和3年 3月 9日	高齢者接種順位の考え方について（施設入所者から接種 など）
令和3年 3月26日	高齢者接種の開始について（ワクチン小分け移送 など）
令和3年 6月 4日	一般接種について（接種回数増加、県営接種会場、職域接種 など）

## ○リエゾン（パイプ役）の配置

- ・ 2/12 市町支援班（計17名：各市町1名ずつ）を配置し、各市町の医師・看護師の確保や会場準備などをサポート
- ・ 2/15 厚生労働省自治体サポートチームへ福井県リエゾン1名を派遣し、国との情報共有体制を強化

## ○看護師向け研修会の開催

- ・ 県医師会および県看護協会、県の共催により、嶺北・嶺南の各会場において、ワクチン接種に携わる予定の看護師を対象に研修会を開催

（ 3/21 嶺北会場（約500名）  
3/28 嶺南会場（約160名） ）

- ・ 以降も、県看護協会が継続して研修会を開催

## ○接種会場見学会の開催（ノウハウを共有）

- ・ 先行接種医療機関や早期に接種を開始した医療機関において接種を行う際、今後接種に携わる医師・看護師等（基本型・連携型約60医療機関）を招いて見学会を開催

### (3) 医療従事者等向け先行・優先接種

#### ○接種の概要 (ファイザー社ワクチン)

- ・ 80の医療機関において、医師や看護師、薬剤師など約31,000名に接種
  - ・ 福井勝山総合病院において、2/19から先行接種を開始し、約430名に接種
  - ・ 3/5から優先接種を開始し、約31,000名に接種
- ・ 最前線に対応に当たる医療従事者等が早期に接種できるよう、ワクチンを優先配分 (高齢者用ワクチンの融通) **福井モデル**

### (4) 市町の住民接種 (個別接種および集団接種)

#### ○接種の概要 (ファイザー社ワクチン)

- ・ 4/12～
  - 全市町が一斉に高齢者 (施設入所者) の接種を開始 **福井モデル**
    - ※当初、ワクチン供給量が少ない中、バイアル単位での小分け移送を実施することにより、全市町一斉開始を実現
    - ※高齢者施設の従事者について、入所者と同時に接種
- ・ 5/8～
  - 在宅の高齢者への接種を開始
- ・ 7月上旬頃～
  - 基礎疾患を有する方、それ以外の方への接種を順次開始

## ○各市町の接種体制（7/31公表時点）

- ・計388か所において接種

個別医療機関	350機関
集団接種会場	38か所

## ○県による市町の支援

- ・ワクチン供給の広域調整

⇒市町のワクチン必要量を把握し、市町間の融通を県が調整

- ・医師および看護師の派遣に係る広域調整

⇒市町からの派遣依頼に基づき、県医師会・県看護協会および県において、  
医師および看護師の派遣調整を実施

（医師は2市町、看護師は8市町において派遣調整を実施）

- ・ワクチン接種会場までの交通費補助を行う市町を支援

⇒市町が集団接種会場等への交通費補助を行う場合に支援（補助率1／2）

## (5) 県営接種会場

### ○福井県新型コロナワクチン接種センター（武田／モデルナ社ワクチン）

- ・エルパプラス、健康の森（県民健康センター）、福井大学敦賀キャンパスの3会場において、11,000人あまりへの接種を実施

会場名	接種日
エルパプラス会場	6 / 19 ~ 10 / 31 の土日
健康の森会場	6 / 26 (土)、27 (日)、7 / 24 (土)、25 (日)
敦賀会場	7 / 17 ~ 9 / 5 の土日 ※嶺南市町から発行された接種券を持つ方を対象

### <以下、エルパプラス会場での取り組み>

- ・若年層の方が接種を受けやすいよう、小中高生優先枠を設定  
(9/4～、517名が接種)
- ・現役世代が接種を受けやすいよう夜間接種（18:00～19:30）を実施（9/4～）
- ・受験を迎える方を応援するため、受験生枠を設定（9/25～、29名が接種）
- ・接種前日および当日の直前予約を可能とし、利便性を向上（10/2～）  
〔朝一、「今日ワクチン接種に行こうかな」⇒電話一本で午後には接種可能！〕
- ・予約なし接種の実施（10/23,24,30,31、4日間で447人が接種）

## (6) 職域接種

### ○企業等による職域接種（武田／モデルナ社ワクチン）

- ・15の企業・団体が、自社の職員、家族等を対象に、合計で約33,000人への接種を実施（6～10月）
- ・福井商工会議所が実施した職域接種（8/25～10/17）においては、事業所の規模にかかわらず、県内全域の会員および非会員事業所の職員、家族を対象に、幅広く接種を実施（約9,000人に接種）
- ・福井県庁が実施した職域接種（9/7～10/30）においては、県職員に限らず、若い世代の接種機会を確保するため、12歳から39歳までの方も対象として受入れ（約2,000人に接種）

### ○中小企業等を対象とした職域接種（武田／モデルナ社ワクチン）

- ・県と各商工会議所・商工会が連携するなどにより、中小企業等を対象とした職域接種を実施。約13,000人に接種（7～10月） 福井モデル

### ○大学接種（武田／モデルナ社ワクチン）

- ・県内全ての大学（既に医療従事者等優先接種で接種済の大学を除く）が、教員・学生等を対象とした接種を実施。約12,000人に接種（6～9月）

## (7) 接種機会の確保①

### ○飲食店従業員等への接種（ファイザー社、武田／モデルナ社ワクチン）【再掲】

- ・ 感染対策特別地域における感染拡大を防止するため、飲食店や旅館・ホテル約1,100店舗の従業員等を対象に接種を実施 **福井モデル**

接種対象：感染対策特別地域（R3.6.21～7.8に福井市順化地区を指定）の  
飲食店や旅館・ホテルの従業員とその同居家族

接種人数：約1,300名

接種場所：福井市内の4医療機関、県営エルプラス会場

接種時期：7～9月

※当初は国の職域接種（1,000人以上）として実施する予定であったが、感染拡大防止の観点から、職域接種の開始を待たずに県独自に早期実施

### ○小中高生向けの夏休みワクチン接種（ファイザー社ワクチン）

- ・ 部活動、学校行事、受験など安心して学校生活を送ることができるよう、  
小中高生に夏休みの期間を利用して接種を進めてもらうため、優先枠を設定

接種対象：小中高生（12～18歳の方）

接種人数：330名

接種場所：福井市内の3医療機関

接種時期：8～9月

- ・ 福井市など9市町においても、小中高生の優先枠を設定（7～10月）

## ○妊娠中の方への接種（武田／モデルナ社ワクチン）

- ・ 妊娠中の方に安心して出産を迎えていただくため、接種枠を設定

接種対象：妊娠中の方およびその同居家族

接種人数：132名（妊婦102名、同居家族30名）

接種場所：個別医療機関

接種時期：9～10月

- ・ 相談窓口を設置（8/27～）し、妊婦等からの相談に対応（相談件数69件）

※新型コロナに感染し、自宅療養中の妊婦が、入院先が見つからず早産となり、新生児が死亡した案件（8月、千葉県）を受けて設定

## ○就活のため帰福している学生の方への接種（武田／モデルナ社ワクチン）

- ・ 県内での面接、Uターンイベント等の説明会に安心して参加できるよう、就職活動のため帰福（来県）している学生を対象とした接種枠を設定

福井モデル

接種対象：就職活動などのため帰福（来県）している学生

接種人数：32名

接種場所：県営エルプラス会場

接種時期：9～10月

- ・ 相談窓口を設置（8/23～）し、現居住地での接種手続きの紹介を行うとともに、接種枠の案内等をサポート（相談件数206件）

福井モデル

## (7) 接種機会の確保②

### ○エッセンシャルワーカーへの接種①（ファイザー社、武田／モデルナ社ワクチン）

- ・ 教員や警察官などエッセンシャルワーカーを対象に、接種枠を設定

接種対象：エッセンシャルワーカー（教員、警察官など）

接種人数：713名

接種場所：複数の大規模病院など

接種時期：7～9月

### ○エッセンシャルワーカーへの接種②（武田／モデルナ社ワクチン）

- ・ 保育士や放課後児童クラブ職員などエッセンシャルワーカー等で、まだ接種を受けていない方への接種枠を設定

接種対象：エッセンシャルワーカー（保育士、放課後児童クラブ職員など）

接種人数：447名

接種場所：個別医療機関

接種時期：9～10月

## ○2回目のみ未接種者への接種（武田／モデルナ社ワクチン）

- ・ 本県への引越し等で2回目（武田／モデルナ社ワクチン）の接種機会を失った方のために体制を構築

接種対象：2回目（武田／モデルナ社ワクチン）の接種機会を失った方

接種人数：23名

接種場所：県営エルプラス会場

接種時期：10月

## ○アストラゼネカ社ワクチンの接種

- ・ アストラゼネカ社ワクチンの接種を希望する方のために体制を構築

接種対象：①ポリエチレングリコール（ファイザー社、武田／モデルナ社ワクチン含有成分）のアレルギーがある等、mRNAワクチンを接種できない方（18歳以上）

②海外でアストラゼネカ社ワクチンの1回目を接種済みで、日本で2回目の接種を希望する方（18歳以上）

③接種を希望する方（原則40歳以上）

接種人数：29名（R3.10時点）

接種場所：個別医療機関

接種時期：9～11月（予定）

## (7) 接種機会の確保③

### ○県単独事業における補助

< 診療所での個別接種を促進するための追加支援 >

- ・ 週100回以上の接種を4週間以上行う場合の国の支援に加え、  
週50回以上100回未満の接種を4週間以上行う場合について、県独自に支援

【該当する週の接種 1 回あたり 500円】

< 診療所・病院での個別接種を促進するための追加支援 >

- ・ 1 日50回以上の接種を行う場合の国の支援に加え、  
1 日100回以上の接種を行う場合は、県独自に上乗せ支援

【国：10万円／日 ⇒ 国＋県：20万円／日】

# ○個別医療機関における予約空き状況の見える化

福井モデル

- ・ Code for FUKUI、(株) jig.jp、県において、即時に医療機関の予約空き状況を県ホームページに公開できるシステム「FUKUIワクチンダッシュボード」を共同開発 (6/25運用開始)
- ・ 接種を受けたい県民は、各医療機関が入力した予約空き状況をリアルタイムで閲覧可能 (11市町の約300医療機関の予約空き状況が閲覧可能)
- ・ 医療機関は、スマホ等でQRコードを読み取り、2クリック (カレンダーをクリック、更新ボタンをクリック)、5秒程度で入力可能

**お住まいの市町を選択してください**

公開の対象は自ら予約を受け付けており、かつ、予約枠に空きがある医療機関です。  
〔敦賀市、大野市、鯖江市、あわら市、越前市、福井市、池田町、南越前町、越前町〕  
※空きがある医療機関が1件以上ある市町のみがクリックできます。

	あわら市	勝山市	大野市
坂井市	福井市	永平寺町	池田町
越前町	鯖江市	越前市	南越前町
高浜町	若狭町	美浜町	敦賀市
おおい町	小浜市		



**FUKUIワクチンダッシュボード**

新型コロナウイルス接種にかかる医療機関の予約空き状況を公開します。

**公開の対象**  
予約枠に空き (概ね先二週間程度) がある医療機関

**利用にあたっての注意点**  
お住まいの市町の医療機関にお申し込み下さい。  
現時点で接種を受けることができるかどうかは、お住まいの市町にお問い合わせください。  
既に予約が埋まっている可能性がございますので、その旨ご了承ください。  
二週間先以降の空き状況については、各市町のWEB予約システムやコールセンターにてご確認ください。

医療機関名	市町名	住所	空き状況	申込先名	申込	申込期限	備考
-------	-----	----	------	------	----	------	----

## (8) 接種勧奨①

### ○接種勧奨の呼びかけ

呼びかけ内容
「ワクチン接種集中月間」(8月)
<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>1回目の接種予約をできるだけ早期にするよう呼びかけ</u></li><li>・ 12～18歳の方については、安心して学校生活を送ることができるよう、<u>夏休み中に1回目を接種するよう呼びかけ</u></li></ul>
「ワクチン接種加速の1カ月」(9、10月)
<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>希望する誰もが予約可能であり、10月10日までに1回目の接種を呼びかけ</u></li></ul>
「安心して年末年始を迎えるため、今こそワクチン接種を」(10月～)
<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>11月までに2回の接種を検討するよう呼びかけ</u></li><li>・ 接種対象外の12歳未満の子どもを守るためにも、周りの大人が接種するよう呼びかけ</li></ul>

### ○ツールを使用した呼びかけ

- ・ 通学路線のバス内の車内広告や若者が集まるショッピングセンターにおけるチラシ配布、テレビCM、SNS、インターネット動画配信等による呼びかけを実施

## ○若者の接種勧奨への取り組み【再掲を含む】

- ・各市町は、接種券の配付計画を前倒しし、10代の接種券を発送  
(夏休み前の配付など)
- ・市町の集団接種会場等において、小中高生の優先枠を設定【再掲】  
(9市町、合計約3,300人分)
- ・県営エルプラス会場において、小中高生の優先枠を設定【再掲】
- ・県職員の職域接種会場において、12歳～39歳の接種枠を設定【再掲】
- ・大学接種において、学生等への早期接種を実施【再掲】
- ・県の調整のもと、福井市内の3医療機関において12～18歳の優先枠を設定【再掲】
- ・県教育委員会を通じ、県立学校の生徒や保護者に対し、接種勧奨のメール、チラシを3回送付(8～9月、市町教育委員会にも共有)
- ・保育園児等の保護者に対し、接種勧奨のメール、チラシを送付(9月)

## ○接種を受けないことに対する差別はしない

- ・接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることがないよう、県ホームページや新聞広告等で繰り返し周知

# (8) 接種勧奨②

## (県作成チラシ ファイザー社製ワクチンver.)

ファイザー社製ワクチンver. 福井県 モデルナ社製ver.

### 新型コロナワクチンのはなし

ワクチンの効果って？ 発症予防効果

発症しにくい  
重症化しにくい  
人にうつしにくい

95%

家族や友人など大切な人たち

県内の第5期感染者 -7/20~9/2-

1回のみ接種 4.2%  
2回接種 2.2%

約94% 1,199人中1,123人がワクチン未接種

接種は強制ではなく個人の判断です。接種を受けたくても受けられない人もいます。お互い相手を思いやる気持ちを大切にしましょう。

どんな流れ？

受付  
接種  
待機  
接種後

アレルギーなし 15分待機  
あり 30分待機

当日 ●入浴 OK ●激しい運動 NG

いつから効くの？

1回目 接種後約3週間あけて接種

2回目 接種後約2週間あけて接種

7日目以降 感染対策はそのまま

接種は無料

### ワクチンの副反応って？

副反応とはワクチン接種が原因で起こる反応のことです。1回目より2回目の方が起こりやすいとされています。副反応は接種後1~2日で出現し、3日以内に回復することが多いです。発熱時には解熱剤を使っても大丈夫です。

ほとんどは3日以内に回復

主な副反応

- 接種部位の痛み
- だるさ
- 頭痛
- 筋肉痛
- 悪寒
- 発熱 ← 解熱剤OK
- 接種部位の腫れ
- 吐き気

### アナフィラキシーって？

数分~数時間以内

薬などが身体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です。

新型コロナウイルスワクチンで起こる頻度は23万程度に1回です。(2/17~8/22の集計) 74%が15分以内、90%が30分以内に起こるとされています。

主な副反応

- 皮膚粘膜症状 (発疹、発赤、かゆみ)
- 消化器症状 (腹痛、嘔吐)
- 循環器症状 (血圧低下・意識障害)
- 呼吸器症状 (呼吸が苦しい、呼吸をするときにゼイゼイする)

予約はこちらから

部活動、学校行事、受験など安心して学校生活を送ることができるよう接種を希望される方は早めのご予約を

⚠️ 若い世代でも感染した場合、重症化や後遺症のリスクがあります

後遺症の例: 味覚・嗅覚障害、息苦しさ、抜け毛など

30% フランス  
35% アメリカ

安全性と副反応について もっとくわしく

## (県作成チラシ モデルナ社製ワクチンver.)

モデルナ社製ワクチンver. 福井県

### 新型コロナワクチンのはなし

ワクチンの効果って？ 発症予防効果

発症しにくい  
重症化しにくい  
人にうつしにくい

94%

家族や友人など大切な人たち

県内の第5期感染者 -7/20~9/2-

1回のみ接種 4.2%  
2回接種 2.2%

約94% 1,199人中1,123人がワクチン未接種

接種は強制ではなく個人の判断です。接種を受けたくても受けられない人もいます。お互い相手を思いやる気持ちを大切にしましょう。

どんな流れ？

受付  
接種  
待機  
接種後

アレルギーなし 15分待機  
あり 30分待機

当日 ●入浴 OK ●激しい運動 NG

いつから効くの？

1回目 接種後約4週間あけて接種

2回目 接種後約2週間あけて接種

14日目以降 感染対策はそのまま

接種は無料

### ワクチンの副反応って？

副反応とはワクチン接種が原因で起こる反応のことです。1回目より2回目の方が起こりやすいとされています。副反応は接種後1~2日で出現し、3日以内に回復することが多いです。発熱時には解熱剤を使っても大丈夫です。

ほとんどは3日以内に回復

主な副反応

- 接種部位の痛み
- だるさ
- 頭痛
- 筋肉痛
- 悪寒
- 発熱 ← 解熱剤OK
- 接種部位の腫れ
- 関節痛
- 吐き気
- 7日以上経ってから接種部位の痛み

### アナフィラキシーって？

数分~数時間以内

薬などが身体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です。

新型コロナウイルスワクチンで起こる頻度は66万程度に1回です。(5/22~8/22の集計) 86%が15分以内、90%が30分以内に起こるとされています。

主な副反応

- 皮膚粘膜症状 (発疹、発赤、かゆみ)
- 消化器症状 (腹痛、嘔吐)
- 循環器症状 (血圧低下・意識障害)
- 呼吸器症状 (呼吸が苦しい、呼吸をするときにゼイゼイする)

予約はこちらから

部活動、学校行事、受験など安心して学校生活を送ることができるよう接種を希望される方は早めのご予約を

⚠️ 若い世代でも感染した場合、重症化や後遺症のリスクがあります

後遺症の例: 味覚・嗅覚障害、息苦しさ、抜け毛など

30% フランス  
35% アメリカ

安全性と副反応について もっとくわしく

（「ワクチン接種集中月間」チラシ）

新型コロナウイルス感染症  
ワクチン接種

**お早めに  
1回目の  
接種予約を**

ワクチンには高い発症予防効果と重症化を防ぐ効果が認められています

接種後もマスク着用など感染対策の継続を

県内では、10代～20代の新型コロナ感染が増えています

10代・20代は約50%  
7/17～7/31の感染者

12～18歳の方、および保護者のみなさまへ

部活動、学校行事、受験など安心して学校生活を送ることができるよう接種を希望される方は夏休み中の1回目接種をご検討ください。

接種は強制ではなく、個人の判断により接種するものです。  
(16歳未満の場合は保護者の同意が必要です。)

有効性や安全性など、正確な情報をもとに受けるかどうかご判断ください。

ワクチンの有効性 安全性と副反応 接種の予約

福井県

（保育園児等の保護者向けチラシ）

保護者のみなさまへ

新型コロナワクチン  
接種を希望される方は  
お早めの予約を

新型コロナウイルス感染症の子どもへの感染の多くは周りにいる大人からです。  
現在、12歳未満のお子さまは新型コロナワクチンの接種ができないため、保護者の皆さまには、お早めのワクチン接種のご検討をお願いします。

発症予防効果 ※ 95%

ワクチンの効果って？

- ▶ 発症しにくい
- ▶ 重症化しにくい
- ▶ 人にうつしにくい

※ファイザー社製ワクチン

県内の第5期感染者 (7/20～9/2)

1,199人中1,123人がワクチン未接種

約94%

- 2回接種 2.2%
- 1回のみ接種 4.2%

予約はこちら

接種後も感染対策はつげましょう

新型コロナ感染症に感染した場合、若い世代でも重症化や後遺症のリスクがあります  
後遺症の例：味覚・嗅覚障害、息苦しさ、抜け毛など

- 39% フランス
- 35% アメリカ

接種は強制ではなく個人の判断です。接種を受けたくても受けられない人もいます。お互い相手を思いやる気持ちを大切にしましょう。

ワクチンの有効性 安全性と副反応 動画で知ろう

福井県

# (飲食店従業員等の方向けチラシ)

# (妊娠中の方向けチラシ)

福井市旅館業協同組合の皆様へ

福井市旅館業協同組合加入店舗の従業員の方および  
そのご家族(希望者)を対象に

**ワクチン接種**を実施します。



①接種日: 1回目と2回目の以下のおりセットでの日程となります。

1回目	8月23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	30日(月)	31日(火)	9月2日(木)
2回目	9月27日(月)	28日(火)	29日(水)	10月1日(金)	3日(日)	4日(月)	5日(火)

※申込み時に希望日を選択してください。

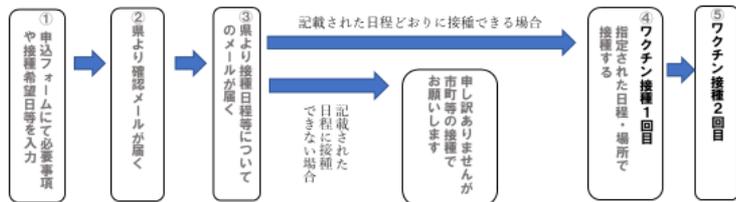
②接種時間帯: 10:00~16:00

③申請方法: 申込フォームより入力  
(右のQRコードまたは下記URLからアクセスできます)  
<https://forms.office.com/r/mxg6uFUSEd>  
※申込期限: 8月13日(金)



④接種場所: 福井バレスホテル(3階)  
([https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/corona/iryoukikan\\_chizu\\_d/fil/iryoukikan\\_chizu4.pdf](https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/corona/iryoukikan_chizu_d/fil/iryoukikan_chizu4.pdf))  
※駐車場はご用意しておりませんので公共交通機関等またはお近くのパーキングをご利用ください。

## ワクチン接種の流れ



## 接種を希望される方への注意事項

- ①対象者は、ホテル・旅館の事業主・従業員とその同居家族様(18歳以上)となります。  
・外国人登録もしくは在留カードをお持ちの外国人従業員の方も接種可能です。  
・県外に住居のある方は接種券をご自分で取り寄せてください。
- ②申込フォーム入力後、県より確認メールが届かない場合は、受付できておりませんので、メール設定等をご確認のうえ、再度申込をお願いします。
- ③接種日決定後の日程変更は受け付けることができませんのでご了承ください。
- ④2回目の接種については、同じ種類のワクチン(モデルナ社製)を接種する必要があるため、違う会場で接種を受けることはできませんのでご注意ください。

問い合わせ先: 福井県新型コロナウイルス対策チーム  
TEL: 0776-20-0710 E-mail: shokuiki-vaccine@pref.fukui.lg.jp



赤ちゃんとお母さんを守るために...

妊娠中の方  
そのご家族  
新型コロナウイルスワクチン  
優先接種のお知らせ

福井県では妊娠されている方を対象に、  
新型コロナウイルスワクチンの  
優先接種を行います。

新型コロナウイルス感染症が若年層を中心に急速に拡大し、  
妊娠されている方の感染も確認されており、妊娠中の方への  
ワクチン接種についても推奨されています。すでに多くの  
接種経験のある海外の妊婦に対するワクチン接種に  
関する情報では、妊娠初期を含め妊婦さんとおなかの  
赤ちゃん双方を守るとされています。  
妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に  
妊娠後期は重症化しやすく、早産のリスクも  
高まり、国内では妊娠中の者への感染例も  
多数報告されています。



【対象者】妊娠中の方  
および同居のご家族

【接種会場】 済生会病院  
東館1階ラーニングセンター  
福井市和田中町舟橋7-1

【ワクチン】 武田/モデルナ社製

実施日	1回目	2回目
	9月9日(木)	10月14日(木)
	9月13日(月)	10月18日(月)
	9月15日(水)	10月20日(水)
受付・接種時間/14:00~14:30		

## 申し込み方法

通院中の産婦人科へ  
接種の可否を相談

産婦人科の了解を得た方  
県のホームページから申し込み

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/vaccineringu.html>



県から接種日時の連絡  
済生会病院で接種

お問い合わせ 福井県新型コロナウイルス感染拡大予防対策チーム  
妊娠中の方のワクチン接種相談窓口/平日9:00~17:00 TEL.0776-20-0770

# (9) 県内の接種実績①

## ○市町別の接種実績 (11月10日時点)

市町名	対象人口 (12歳以上)	接種回数	接種率			
			1回目	2回目	1回目	2回目
福井市	235,343	405,596	204,827	200,769	87.0%	85.3%
敦賀市	58,472	98,891	49,727	49,164	85.0%	84.1%
小浜市	26,080	44,510	22,426	22,084	86.0%	84.7%
大野市	29,703	52,371	26,336	26,035	88.7%	87.7%
勝山市	20,747	37,022	18,575	18,447	89.5%	88.9%
鯖江市	61,781	105,472	53,130	52,342	86.0%	84.7%
あわら市	25,304	44,538	22,506	22,032	88.9%	87.1%
越前市	74,248	125,737	63,481	62,256	85.5%	83.8%
坂井市	81,774	141,880	71,382	70,498	87.3%	86.2%
永平寺町	16,705	29,810	14,980	14,830	89.7%	88.8%
池田町	2,299	3,972	2,008	1,964	87.3%	85.4%
南越前町	9,375	16,672	8,403	8,269	89.6%	88.2%
越前町	19,146	33,450	16,803	16,647	87.8%	86.9%
美浜町	8,499	14,981	7,527	7,454	88.6%	87.7%
高浜町	9,262	15,842	7,986	7,856	86.2%	84.8%
おおい町	7,287	12,894	6,484	6,410	89.0%	88.0%
若狭町	13,081	23,458	11,784	11,674	90.1%	89.2%
県全体	699,106	1,207,096	608,365	598,731	87.0%	85.6%

※人口は、令和3年1月1日現在の住民基本台帳より

※接種回数は、ワクチン接種記録システム (VRS) より (医療従事者等を含む)

## (9) 県内の接種実績②

### ○年齢別の接種実績（11月10日時点）

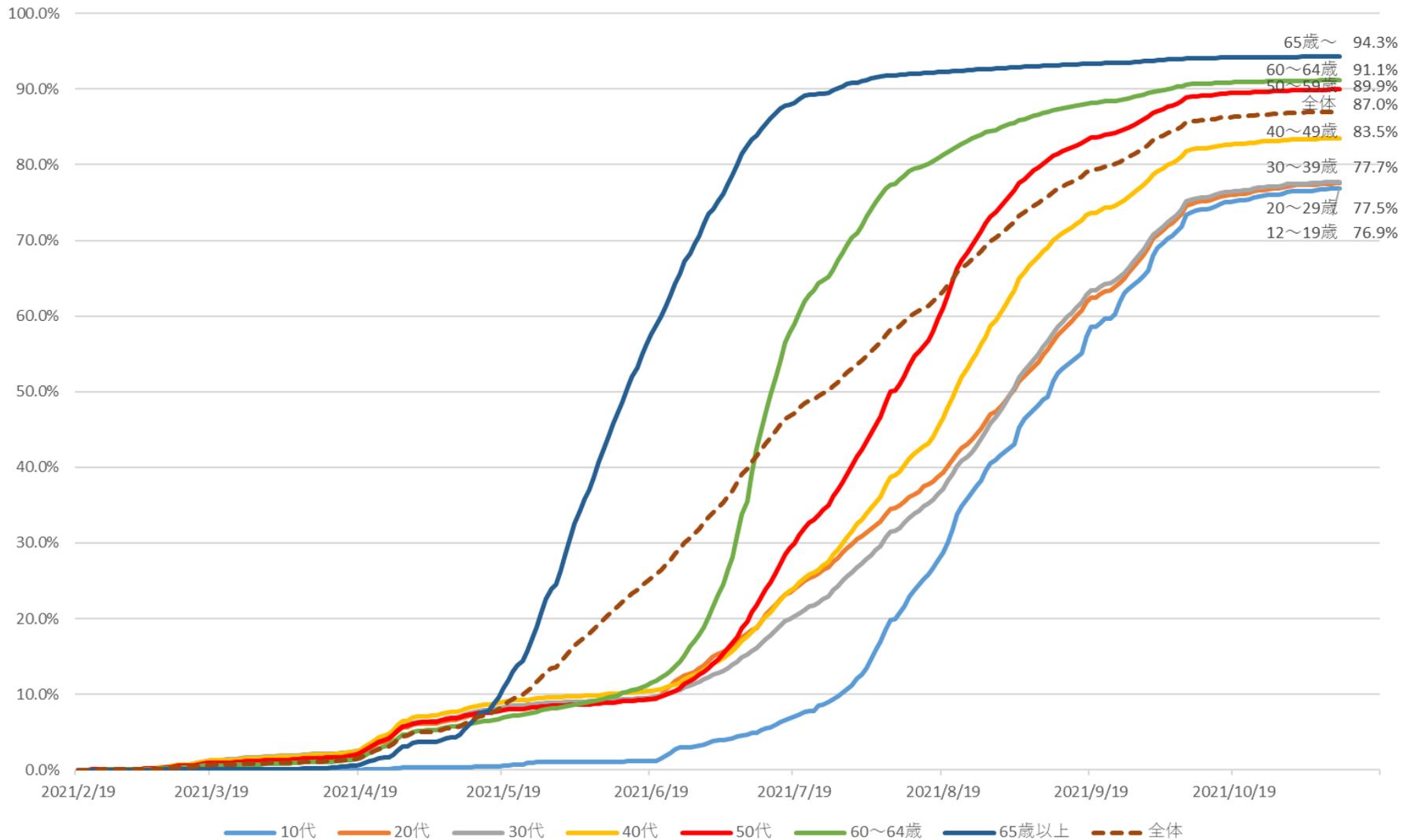
年代	人口	接種回数	接種率			
			1回目	2回目	1回目	2回目
65歳以上	234,043	440,058	220,646	219,412	94.3%	93.7%
60～64歳	48,680	88,459	44,367	44,092	91.1%	90.6%
50～59歳	97,580	174,610	87,758	86,852	89.9%	89.0%
40～49歳	105,098	173,912	87,718	86,194	83.5%	82.0%
30～39歳	81,623	125,041	63,411	61,630	77.7%	75.5%
20～29歳	73,381	111,948	56,906	55,042	77.5%	75.0%
12～19歳	58,701	88,643	45,117	43,526	76.9%	74.1%
県全体	699,106	1,207,096	608,365	598,731	87.0%	85.6%

※人口は、令和3年1月1日現在の住民基本台帳より

※接種回数は、ワクチン接種記録システム（VRS）より（医療従事者等を含む）

※県全体の接種回数には、年齢不明なものが含まれている（年代別の合計と一致しない）

# ○年齢別の接種実績（1回目接種率の推移）（11月10日時点）



# (10) 副反応等への対応

## ○ワクチン接種にかかる相談窓口

- 副反応など医学的知見が必要となる相談への対応窓口として、「県新型コロナワクチン接種相談センター」を設置
 

3/22～：9:00～17:00受付
6/14～：24時間受付
- 相談件数および相談内容は次のとおり（3～9月の実績）

	計	①接種時期	②接種の予約方法	③接種前の相談 (基礎疾患・アレルギーなど)	④接種後の副反応	⑤県が設置する 集団接種会場	⑥その他
3月	129	13	7	83	4	0	22
4月	822	88	299	276	65	0	94
5月	1,428	116	533	397	126	4	252
6月	1,624	132	195	427	481	43	346
7月	1,923	90	217	362	905	21	328
8月	2,036	78	171	372	1,057	19	339
9月	1,432	45	108	292	789	7	191
合計	9,394	562	1,530	2,209	3,427	94	1,572
(一日平均件数)	(48.7)						
(一日最大件数)	(108)						

## ○副反応疑い報告

- ・副反応のうち、特定の症状（アナフィラキシー等）や、ワクチン接種との関連を否定できない重篤な症状などは、医療機関から国へ報告

## ○副反応に対する医療体制

- ・身近な医療機関（かかりつけ医、接種医療機関等）では対応が困難な副反応を認めた場合に、専門的な医療機関が身近な医療機関からの照会や相談に対応する体制を構築（4/1～）

## 【課題】

- ・ ワクチン供給に関する国からの情報提供が遅かったこと、国からのワクチン供給が滞った（ファイザー、モデルナとも）ことから、医療従事者等の優先接種や市町接種、職域接種の進捗に支障が生じた。また、職域接種におけるワクチン供給の優先順位が国基準により決定されたが、地域の実情に沿わない部分があった。
- ・ 国は当初、7月末までに高齢者への接種を終えることを目標としていたため、市町とともに当該目標の達成を目指していたが、その後、11月の早い段階で希望する国民全員への接種を終えるという目標を打ち出すなど、国の方針への対応に時間を要した。
- ・ コロナ患者への対応がある中で、接種を担う医師・看護師を確保することに苦慮

## 【今後の対応】

- ・ 国に対し、ワクチンの供給情報を可能な限り早く提供するとともに、安定的な供給を行うよう要請。また、職域接種におけるワクチン供給の優先順位について、地域の実情（感染が拡大している地域を優先するなど）を反映できるなど、地方の裁量が可能となるよう要請
- ・ 接種費用について、地方負担が生じないよう、国における確実な財政措置を要請
- ・ 接種を担う医師・看護師については、引き続き、県医師会、県看護協会および県が連携して派遣調整を実施



### 3 医療提供体制

陽性確認

## 入院コーディネートセンター

症状・基礎疾患などの問診

重症  
中等症  
軽症・無症状

症状などに応じた入院入所先の調整

重症化リスク確認

軽症  
無症状  
(重症化リスクなし)

メディカル  
チェック

血液検査  
画像検査  
バイタル確認

※試行中

## 医療機関

3/1現在

病床  
255床

10/14現在

病床  
324床  
臨時の医療施設  
100床

計 424床

## 宿泊療養施設

3/1現在

145床

10/14現在

316床

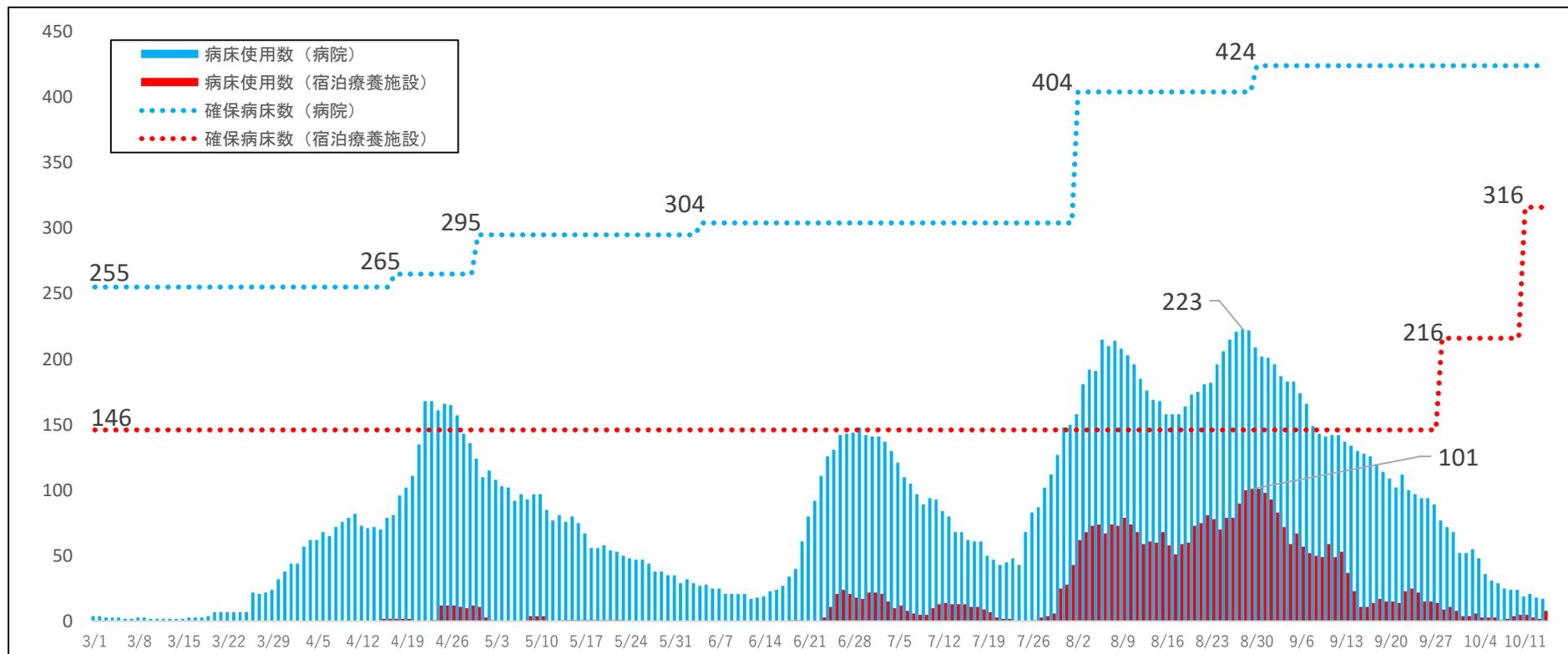
症状軽快した場合、医師の判断により  
基準満了前に退院  
(パルスオキシメーター等の資機材の確保)

# (1) 入院医療体制・宿泊療養施設

## 【これまでの実施状況】

- ・ 新型コロナ入院患者受入れ病床は、宿泊療養施設を含め740床を確保  
(医療機関 424床 + 宿泊療養施設 316床)
- ・ 感染拡大期においても必要な医療の提供や宿泊療養を実施  
(最大病床使用数：医療機関 223床(8/28)、宿泊療養施設 101床(8/29・30))

確保病床数および病床使用数の推移 (令和3年3月1日～令和3年10月14日)



## 【課題】

### (病床確保)

- ・ 変異株の影響による継続した感染者の発生により、病床使用率の指標が緊急事態レベルを上回る 55.2% (8/28 使用病床 223床 / 確保病床 404床)となった。
- ・ 年末年始の感染拡大を踏まえた体制強化や、感染拡大に応じた病床確保を進めるとともに、体育館を利用した臨時の医療施設 (100床)を確保した。
- ・ 患者の増加に対応するため、初めて医療確保計画の最終フェーズ 5 を発動 (8/2~9/30)
- ・ 今後も感染拡大に備え、継続した病床確保が必要

### (宿泊療養施設)

- ・ 病床と同様に感染拡大により、病床使用率が最大 69.2% (8/29・30 使用病床 101床 / 確保病床 146床)となった。
- ・ 新規感染者が急増した局面では、運用を見直し、直接軽症・無症状患者を受け入れた。
- ・ 医療機関の負担を軽減するため、積極的な宿泊療養施設の活用が必要

## 【今後の対応】

### (病床確保)

- ・ 今後の感染拡大にも対応することができる医療供給体制を維持するため、引き続き現在の病床数を確保する。
- ・ 宿泊療養施設を積極的に活用してもなお、感染拡大に対応できない場合は、病床確保計画における最終のフェーズ5で臨時の医療施設を稼働する。
- ・ コロナ病床を最大限活用できるよう、コロナ回復後も引き続き入院管理が必要な患者の受け入れ先となる後方支援医療機関への転院を促進し、入退院サイクルの円滑化を進める。

### (宿泊療養施設)

- ・ 今後の感染拡大時においても、軽症患者等を受け入れることができる宿泊療養体制を維持するため、引き続き現在の病床数を確保する。
- ・ ワクチン接種や中和抗体薬投与により重症化が抑えられ、軽症・無症状患者の増加が想定されることから、積極的な受け入れにより、医療機関の負担を軽減する。



## (2) 患者の受入調整・搬送調整

### 【これまでの実施状況】

- ・ 3月26日～10月20日まで「入院コーディネートセンター」を設置
- ・ 各病院の空き病床を管理し、症状に応じた適切な医療機関への入院・搬送を調整（DMA T登録88名が延べ681回出務）
- ・ 全県的な搬送調整により、患者数の増加に対応した受入れを実施
- ・ 病院と患者情報（酸素投与状況等）を共有し、重症化のため転院搬送が必要な場合に的確に対応
- ・ 第4期以降、小児患者割合が増加。入院先が限定されたが、宿泊療養も活用し対応

	第1波	第2波	第3波	第4波	第5波	計
全患者数	122名	122名	301名	876名	1680名	3101名
うち小児患者数	3名	3名	15名	88名	203名	312名
小児の割合	2.5%	2.5%	5.0%	10.0%	12.1%	10.1%

- ・ 3月、9月に発生した高齢者施設でのクラスターでは、現地に医療チームを派遣して入院・搬送調整を行い、全ての陽性者を速やかに医療機関へ入院
- ・ 感染急拡大時に備え、9月から宿泊療養・自宅待機を検討する方に対するメディカルチェック（血液検査・画像診断等）を試行。これまで9名実施。うち2名が検査結果を受けて入院

## 【課題】

- ・原則として全ての患者を入院させることとしていたため、軽症・無症状患者の増加により病床使用率が高まり、感染拡大時には入院調整に時間を要した。
- ・このため、入院待機中に夜間救急搬送等が必要となる事例があった。

## 【今後の対応】

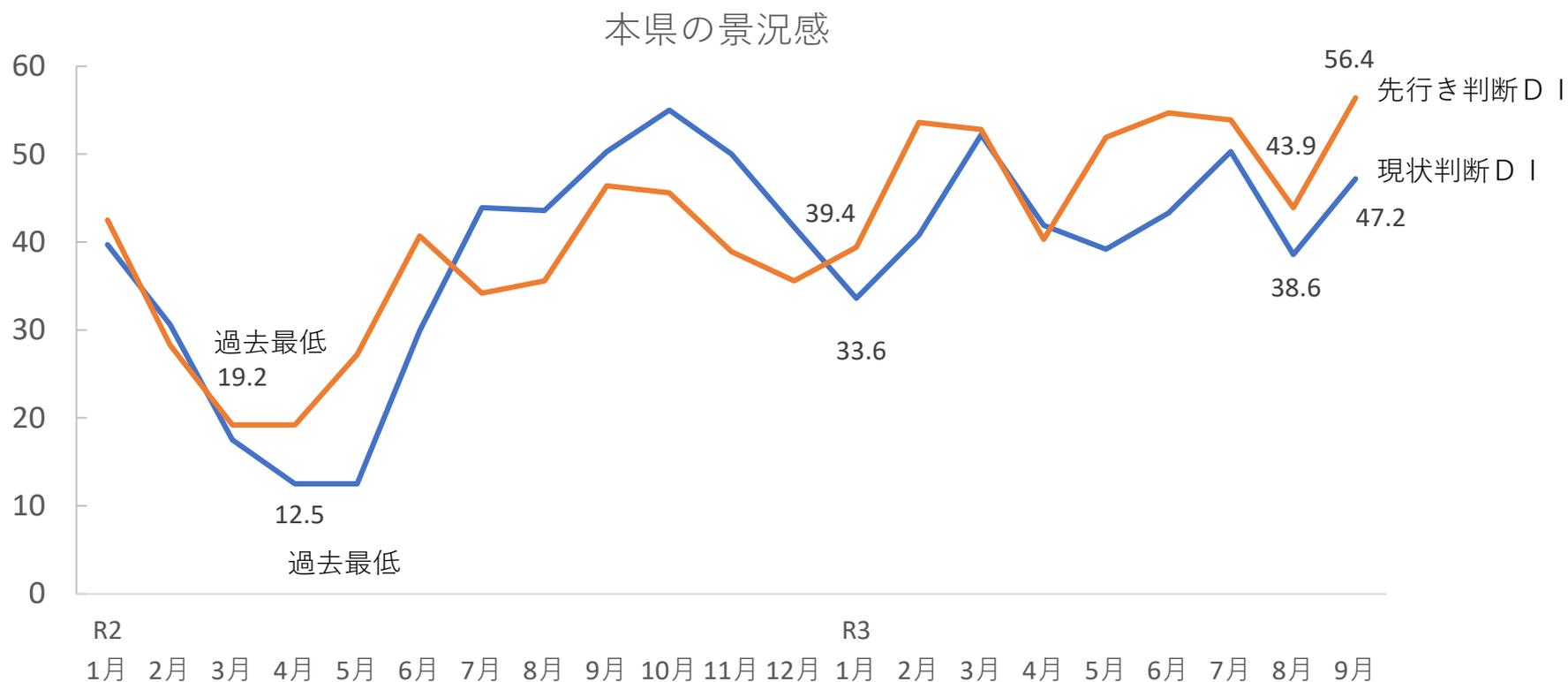
- ・医療機関は入院治療の必要がある患者に対応し、健康観察が主となる患者は宿泊療養とする入院調整の考え方を、今後も継続する。
- ・併せて、医師会による往診など健康観察体制を強化し、軽症者・無症状者の受け入れを促進する。
- ・宿泊療養、自宅待機を検討する方に対し、血液検査・画像診断等のメディカルチェックを行い、入院の必要性を判断する。
- ・患者の症状に応じて速やかな受け入れが可能となるよう、夜間救急搬送の対応病院を設定する。

## 4 経済・雇用

# (1) 本県経済への影響 (①景況感)

## 【状況】

- ・本県の景況感は、第5波の感染拡大に伴い、8月は景気の境目となる50を下回ったものの、9月は再び上昇（現状判断DI：47.2）
- ・先行きについては、50を上回り、各種政策の効果やワクチン接種への期待などから、景気の持ち直しへの期待が大きい。



# (1) 本県経済への影響 (②製造業)

## 【状況】

- ・ 県内の製造業の状況は、鉱工業生産指数によると令和2年5月で底を打ち、概ねコロナ前の水準まで回復
- ・ 感染拡大や半導体不足等による自動車の減産の影響を受け、8月は電子部品・デバイス、輸送機械工業で大幅に低下

鉱工業生産指数の推移

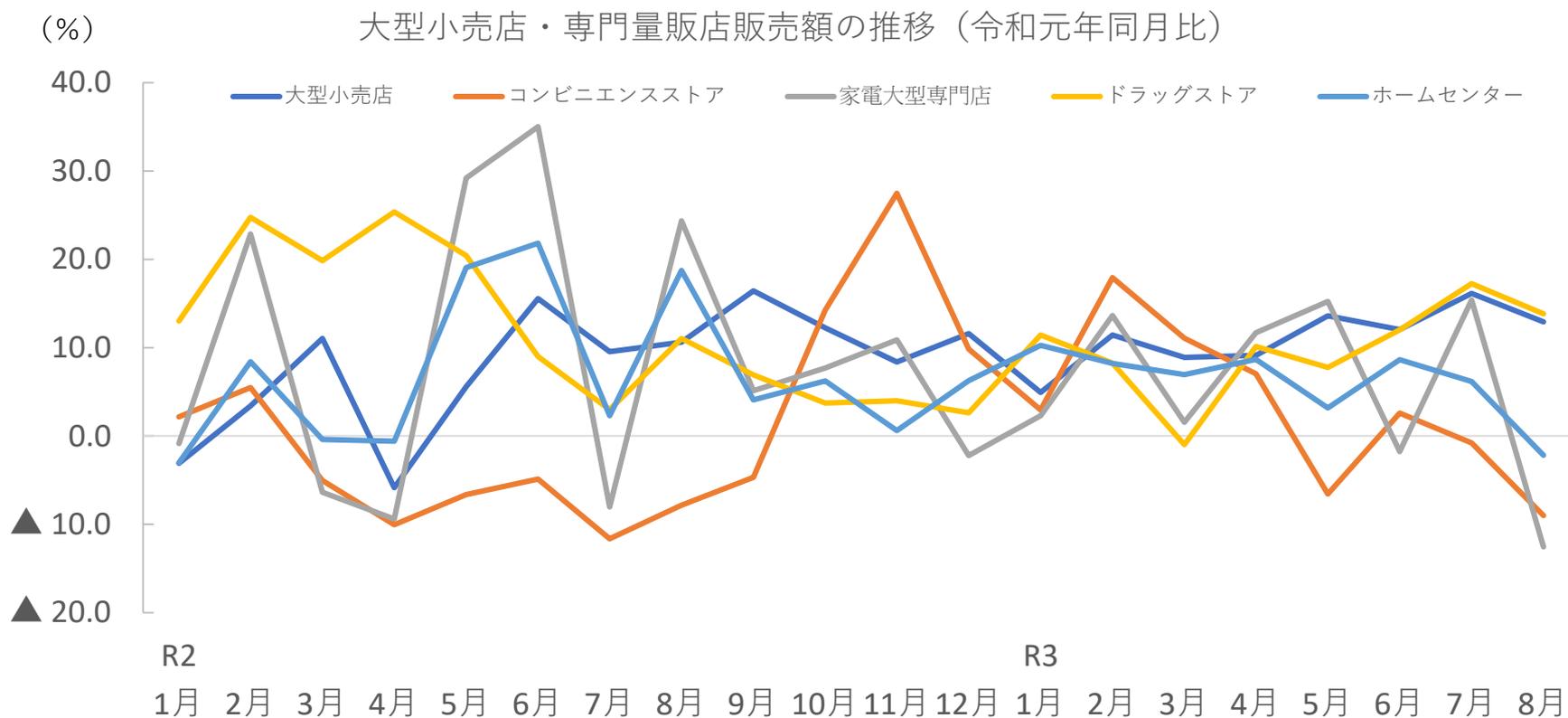


業種	R2.5月	R3.8月
電子部品・デバイス	108.3	116.9
化学工業	90.8	106.0
繊維工業	84.7	88.8
眼鏡工業	66.4	99.2
輸送機械工業	42.6	115.8

# (1) 本県経済への影響 (③消費)

## 【状況】

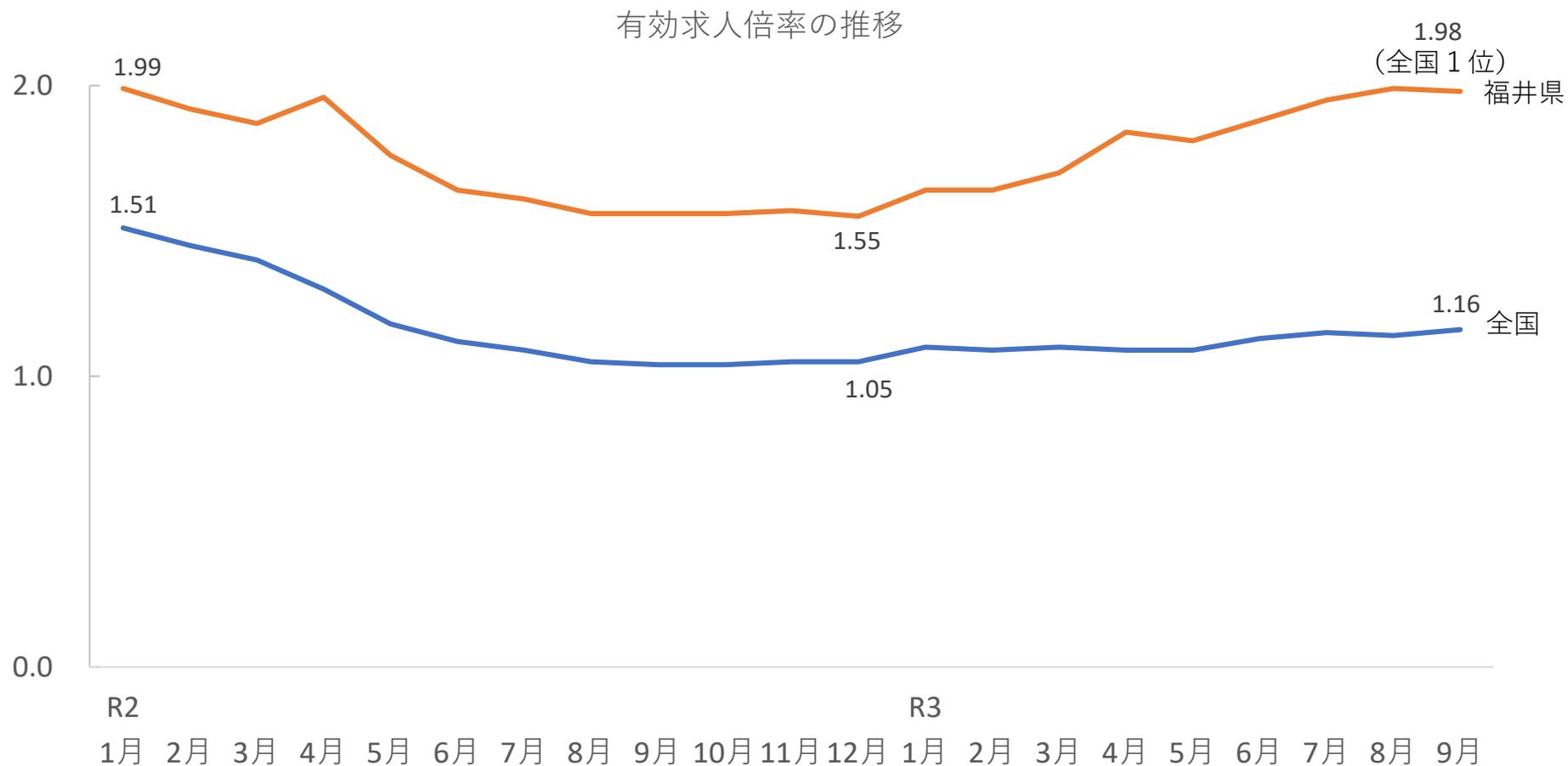
- ・ 県内の消費状況（8月）は、ドラッグストア（前々年同月比+13.8%）、大型小売店（同+12.9%）は、コロナ前の水準を大きく上回り、堅調に推移している。
- ・ 第5期の感染拡大により、8月は多くの業態で悪化



# (1) 本県経済への影響 (④雇用)

## 【状況】

- ・有効求人倍率は、令和2年12月の1.55倍を底にして回復傾向で、令和3年9月は1.98倍（20か月連続で全国1位）となっている。



## (2) 経済雇用 ①事業継続の支援

### ア. 経営相談の体制強化

#### 【これまでの実施状況】

- ・ふくい産業支援センターにおいて、電話、ビデオ電話、チャットで中小企業診断士等の専門家にワンストップで相談できるオンライン相談窓口を開設

相談件数 (R3.10.14現在)

電話相談	1, 274件	ビデオ通話等	814件
------	---------	--------	------

- ・商工団体に中小企業診断士などの専門家を配置し相談体制を強化。また、事業者への専門家派遣も実施
- ・国の支援策を含めて事業者が利用できる支援制度を取りまとめ、県ホームページに掲載するとともに、商工団体等を通して会員企業等に周知

#### 【課題】

- ・経営相談に訪れた事業者からは、補助金等の申請書類の簡素化や速やかな給付を求める意見が寄せられており、今後の施策に反映していくことが必要

#### 【今後の対応】

- ・今後実施する補助金等については、申請書類を可能な限り簡素化することで事業者の負担軽減を図るとともに、必要に応じてオンライン申請も取り入れるなど、迅速に給付できる体制を構築

## イ. 資金繰り支援

### 【これまでの実施状況】

- ・令和3年度に、金融機関が経営行動計画策定や定期的なフォローアップ等の伴走支援を行う新型コロナウイルス伴走支援資金を創設
- ・県版緊急事態宣言等により売上が減少した小規模事業者を支援するため、6月補正予算において、新型コロナウイルス感染症対策緊急小口資金を創設

#### < コロナ関連制度融資の実績 (R3.9.30現在) >

区分	件数	金額
新型コロナウイルス伴走支援資金 4,000万円以内・10年以内 (R3.4～)	101件	10億円
新型コロナウイルス感染症対策緊急小口資金 200万円以内・7年以内 (R3.7～)	18件	0.2億円

### 【課題】

- ・業況悪化により新規融資が難しい中小企業者、据置期間終了等により返済負担が増加した中小企業者等への資金繰り支援が必要

### 【今後の対応】

- ・金融機関や支援機関等を通してコロナ関連の制度融資を周知
- ・金融機関に対して、中小企業者の資金繰りの状況把握と条件変更等の柔軟な対応等を要請

## ウ. 固定費等への支援

### 【これまでの実施状況】

- ・ 事業者に切れ目ない支援を行うため、福井県版持続化給付金を支給（支給終了）

<支給の状況（R3.10.14時点）>

支給件数	9, 056件	支給額	9億0,560万円
------	---------	-----	-----------

- ・ 福井県緊急事態宣言の発出等により、売上げが大きく減少した事業者に対し、中小企業者等事業継続支援金を支給

<支給の状況（R3.10.14時点）>

支給件数	6, 852件	支給額	8億8,660万円
------	---------	-----	-----------

- ・ 経営改善に前向きに取り組む事業者に対し、経営改善支援金を支給（受付終了）

<支給の状況（R3.10.14時点）>

支給件数	13, 990件	支給額	13億9,900万円
------	----------	-----	------------

- ・ 店舗等における感染拡大防止対策の取組みに対する助成金を支給

<支給の状況（R3.10.14時点）>

支給件数	2, 270件	支給額	198百万円
------	---------	-----	--------

## 【課題】

- ・ 中小企業者等事業継続支援金については、給付額の増額、対象事業者の拡充と、2度にわたり制度改革を行ったため、制度改革の周知が十分に行き届いていない

## 【今後の対応】

- ・ 定期的な新聞広告の掲載等により事業者によく周知
- ・ 過去に申請実績があり、制度改革後に申請が無い事業者に対しては、個別に連絡・内容説明

## ②雇用の確保・維持

### 【これまでの実施状況】

- ・国の雇用調整助成金等への県独自の上乗せ支給により事業者を支援

申込の状況（R3.10.14現在）

雇用維持緊急助成金

申請件数 1,384件

- ・求職者の資格や職務経験等の情報を集約した人材バンク制度を整備するとともに、若者を正規採用した事業者に人件費等を補助し、若者の就職を支援

申込の状況（R3.10.14現在）

スカウト型採用応援事業補助金 認定：38社101名 採用：12社13名

- ・異業種から人手不足業種に就職する求職者に奨励金を支給し、人手不足業種の人材確保を支援

支給の状況（R3.10.14現在）

人手不足業就職チャレンジ奨励

申請件数 102名

- ・「雇用シェア促進協議会」において、労働力過剰企業と人手不足企業との雇用シェアによる出向等のマッチングを促進

雇用シェア成立状況（R3.10.14現在）

成立件数

14件39名

## 【課題】

- ・ 県内の雇用情勢は、求人が求職を大幅に上回って推移しており改善しているが、依然として、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意を要する。
- ・ 一方で、成長産業や人手不足分野では有効求人数が増加傾向にあり、職種間におけるミスマッチが生じており、一部の業種では人手不足が深刻な状況

## 【今後の対応】

- ・ 職業訓練および正規就労の機会を提供し、成長産業等への労働移動を促進するとともに、担い手不足が深刻な業種（建設、運輸、介護）へ異業種から就職する求職者を支援
- ・ 引き続き、「雇用シェア促進協議会」を核に、労働力過剰企業と人手不足企業との間における出向等のマッチングを促進し、雇用維持を応援

### ③事業再開・拡大支援

#### ア. 販路確保等支援

##### 【これまでの実施状況】

- ・ 製造業の設備投資や販路開拓、IT導入等を支援するとともに、非対面型ビジネスモデルへの転換等を促進
- ・ サンプル展示を併用する遠隔商談等、ニューノーマルに対応した県内企業の営業活動を支援し、事業継続を後押し

##### 申込の状況（R3.10.14現在）

ものづくり・商業・サービス生産性向上支援事業	申請件数	125件
新スタイル展示・商談支援	申請件数	24件

## 【課題】

- ・アフターコロナ下では、オンラインの活用、デジタル化の推進など、ニュー・ノーマルに対応したビジネススタイルに転換していく必要がある。
- ・アフターコロナ下での商談について、ものづくりの現場である福井に来てもらう新たな流れを構築していくことが、産地活性化のために重要

## 【今後の対応】

- ・個社およびグループ単位で取り組む新たなスタイルの商談等を継続支援
- ・産地活性化に意欲的な企業で構成するグループと共同で、B t o B向けオープンファクトリーを試行実施

## イ. 消費喚起

### 【これまでの実施状況】

- ・ 県内の小売・サービス業店舗で利用できるデジタルバウチャー（ふく割）を発行し、県民の“ついで買い”を誘発・喚起

〈〈デジタルバウチャー消費喚起事業（ふく割）〉（R3.10.14現在）

利用登録者数：22.5万人 参加登録店数：約4,500店

利用枚数：39.5万枚（消費誘発額 約19億円）

- ・ 国のGoToイートキャンペーンを活用し、福井県プレミアム食事券を販売（第2弾（R3.5～R3.11）は6,000円分の食事券を5,000円で販売）
- ・ 第1弾、第2弾あわせて、額面合計160億円分の食事券を確保

食事券の販売額（R3.10.14現在） 108億円

食事券の飲食店での利用額（R3.10.14現在） 96億円

- ・ イベント業者と商店街・商業施設が連携して実施する消費喚起キャンペーンを支援

〈GoToショッピング消費喚起キャンペーン事業〉

事業実施件数：22件（県内80の商店街、商業施設が参加）

## 【課題】

- ・ 業種によっては今後も厳しい売上状況が続くことが予想される。
- ・ 特に、飲食店は、緊急事態宣言発出に伴う営業時間短縮要請の影響等により売上機会を失っており、継続的な支援が必要

## 【今後の対応】

- ・ 年末にかけて順化地区限定や割引条件を高く設定した「マスク会食割」等の「ふく割」の発行拡大や、GoToショッピング消費喚起キャンペーンにより、県内における消費を喚起

## ウ. 観光需要喚起（ふくいdeお得キャンペーン等）

### 【これまでの実施状況】

- ・ GoToトラベル事業が全国一斉停止となった令和2年12月末以降、県内感染状況を注視しながら、県独自に上乘せ割引の継続と土産品抽選プレゼントを実施
- ・ 県内感染が落ち着いた2月17日宿泊分（2/15受付開始）から3月30日宿泊分まで、15%の割引率を50%（上限1万円/人泊）へ引き上げる等、需要喚起（土産品抽選プレゼントは5月9日宿泊分まで継続）
- ・ さらに1月から3月末まで、平日のスキー場・スケート場への誘客促進策として、県民対象のリフト券等半額助成および法恩寺山有料道路無料化を実施
- ・ 4月からは、国の地域観光事業支援事業を活用し、県民向け県内旅行代金割引（上限5千円/人泊）と地域クーポン発行（2千～3千円分発行/人泊）を実施
- ・ 7～8月には、夏の宿泊割引キャンペーン（上限1万円/人泊）を実施
- ・ 県独自の緊急事態宣言発出などにより、厳しい状況にある観光事業者を支援するため、10月以降も宿泊割引キャンペーン（上限1万円/人泊）を継続

### 〈旅行代金割引〉

- ・ 予約申込 (3/1～10/14 受付分) 450, 566人
  - 3月受付分 25,788人、 4月受付分 16,718人
  - 5月受付分 43,739人、 6月受付分 121,396人
  - 7月受付分 63,569人、 8月受付分 31,965人
  - 9月受付分 5,665人、 10月受付分 141,726人(10/14まで)

### 〈土産品ふく袋〉

- ・ 土産品抽選応募実績 (3/1～5/9) 6, 977件 ※宿泊1万円以上のグループ

### 〈地域クーポン発行〉

- ・ 発行実績 (5/14～10/14) 340, 497組  
764, 541千円

### 〈リフト券等半額助成〉

- ・ 利用者数 (3/1～3/31) 7, 663人 (スキー場4、スケート場1)

## 【今後の対応】

- ・ 新型コロナにより影響を受ける県内の宿泊事業者や旅行会社、物販事業者等を支援するため、当面は、県民向けの旅行代金割引や土産品・タクシー等で使えるクーポンのプレゼント等により、県内需要を喚起する。
- ・ 国のGoToトラベル事業再開時には、本県独自の上乗せ割引を展開して、全国の旅行客を取り込んでいく。

## (3) 寄付金等の受入

### ア. 県による寄付金の受入れ

#### 【これまでの実施状況】

- ・ 県内外から新型コロナウイルス対策寄付金の受入
- ・ 地域振興基金に積立した上、児童福祉施設等職員への慰労金として活用

< 寄付の受け入れ状況 (R3.9月末時点) >

108,746,550円

寄付件数：104件（個人 76件、企業等 28件）

積立額：69,499,550円

< 寄付金の活用内容 >

保育所、認定こども園等の児童と接触する職員に対し、  
1人あたり5万円の慰労金を本県独自に支給

(参考 県立病院受け入れ状況)

12,660,000円 寄付件数：11件（個人 8件、企業等 3件）（R3.9月末現在）

#### 【今後の対応】

- ・ 寄付金の受け入れを継続し、新型コロナウイルス対策に活用

## イ. 「心をひとつに ふくい応援」基金の運営

### 【これまでの実施状況】

- ・令和2年5月15日に「心をひとつに ふくい応援」基金を創設し、医療従事者等の勤務環境の改善等を使い道として寄付を募集

【設置者】（公財）福井県健康管理協会 協力：福井県

< 寄付の受け入れ状況（R3.9月末時点） >

94,939,904 円（うち70,300,000円を配分済み）

寄付件数 658件（個人 544件、企業等 114件）

### 【今後の対応】

- ・寄付金の受け入れを継続し、感染症拡大の状況や医療現場のニーズを踏まえ、次回配分に向けて準備を進める。

## ウ. 医療物資等

### 【これまでの実施状況】

- ・ 県内外から医療物資等を受入
- ・ 県内の医療機関等に物資を配分

< 医療物資等の受け入れ状況（9月30日時点） >

推計金額 195,000,000円

寄付件数 402件（個人 122件、企業等 280件）

< 主な受け入れ物資 >

- ・ サージカルマスク 173万枚（うちマスク会食用のマスク75万枚）
- ・ 防護服 1万着
- ・ 医療用長袖ガウン 2万着
- ・ フェイスシールド 5万枚

< 物資の配分先 >

- ・ マスク会食用のマスクについては、飲食店に配布
- ・ 感染症指定医療機関などの医療機関を中心に、福祉施設、学校等に配布
- ・ 今後の感染増に備えて、一部は県で備蓄

### 【今後の対応】

- ・ 物資の在庫、需要を見極め必要な物資については受け入れ

## 第4期・第5期のまとめと今後の対応

### 【感染の特徴】

- ・ 変異株等の影響により、感染者数・新規系統数が増加 (p7.8)
- ・ 高齢者へのワクチン接種進展に伴い、感染者に占める若年層の感染割合が増加 (p11)
- ・ 早期発見・早期治療により、入院日数、重症化率が低下 (p14.15)
- ・ 感染経路別では、第4期・第5期とも家族内感染が最も多く、第4期は飲食店、第5期は会社同僚が次に多い (p16.17)
- ・ 第5期の感染の場面が判明している事例では、マスクを着用していない割合が94% (感染場面が不明の事例を含めると80%) (p21)
- ・ 第5期の感染者のうち9割がワクチン未接種者 (p22)

### 【対策の実施状況】

- ・ 確保病床の拡充 (p82)

	3月1日時点		10月14日時点
医療機関	255床		424床 (+169床)
宿泊療養	145床		316床 (+171床)
計	400床		740床 (+340床)

- ・ ワクチン接種の推進  
対象人口（12歳以上）の接種率 87.0%（11月10日時点 1回目接種）（p75）
- ・ 「おはなしはマスク」の推進（p43）  
官民連携の推進協議会を設立し、会話時のマスク着用を推進  
（県、市町、企業、学校、報道機関、飲食店等）
- ・ 飲食店への時短要請を初めて実施（p47）  
時短割合 95.1%（8月25日～9月12日）  
協力金 約35億円

## 【課題および今後の対応】

- ・ 早期発見・早期治療やワクチン接種進展、中和抗体薬投与などに伴い、死亡率や重症化率が低下している中、感染拡大時に県民の社会活動をどの程度制限するべきか感染拡大防止と経済の両立に向け、国の方針などを踏まえ検討を行う。
- ・ 新型コロナウイルスの出口戦略として、感染判明時のメディカルチェック（血液検査、画像診断等）による重症化リスクの診断など、初期治療の実施により「重症化させず命を守る」医療体制を構築するよう国に提言を行う。